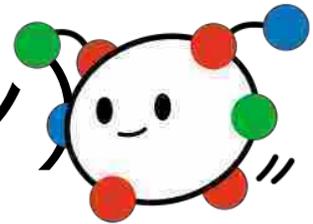


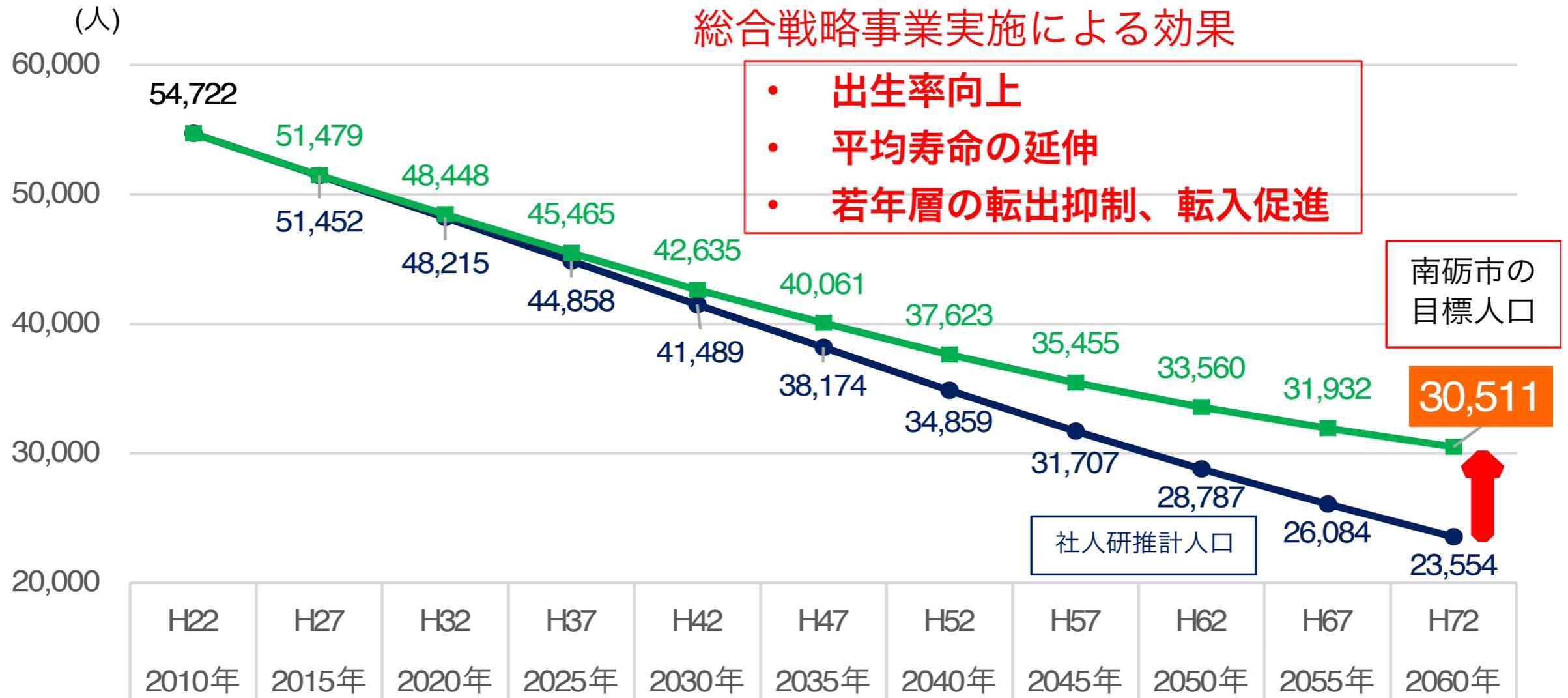
次 第

- 1、南砺市のまちづくり
- 2、南砺市の課題
人口問題と急激な少子化 長寿化
- 3、財政状況 行財政改革
- 4、公共施設再編 合併による2倍の公共施設がある
- 5、消滅するまち 増田レポートショックから 地方創生
- 6、南砺型地域包括ケアシステム 医師不足から
- 7、小規模多機能自治へ 新たな住民自治のあり方
- 8、エコビレッジ構想 SDGsへ
- 9、南砺幸せ未来基金の設立に向けて
- 10、農村文明創生日本塾の立ち上げ
- 11、その他 文化政策 アニメほか

南砺市の人口の将来展望（人口ビジョン）

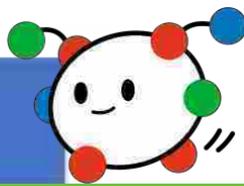


総合戦略の各種事業により、将来人口 約30,000人を目指します



応援市民 約5,000人の登録を目指します

【応援市民】市外に住まいする方で、南砺市を想い、集い、地域課題の解決に協力いただける方を認定します。2060年まで5,000人の登録を目標にしています。



南砺市人口ビジョン 概要版

1

今後何も対策をしなければ南砺市の人口は6割減少

社人研による人口推計



2

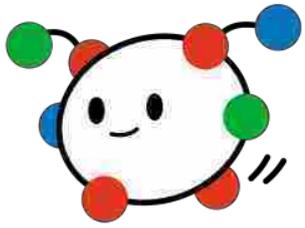
人口減少の主な要因は、

- 合計特殊出生率（年間出生数）の低下（減少）

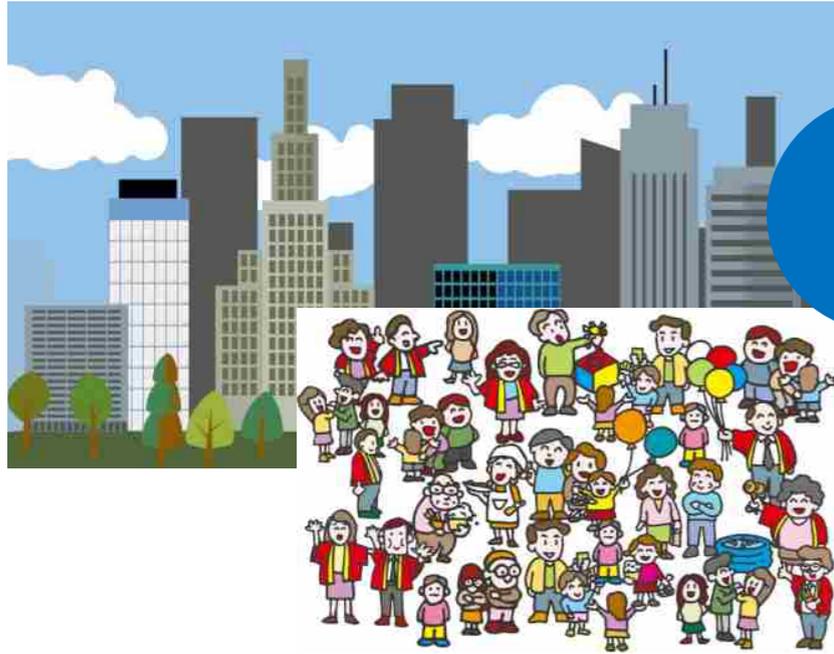
合計特殊出生率（年間出生数） 2010年：1.44（378人）→2040年：1.39（117人）

- 若い世代の流出による社会減（純移動の減） 年間約△300人

本市が目指すべき姿



東京等の都市部



南砺市



人

お金

自然

文化

食

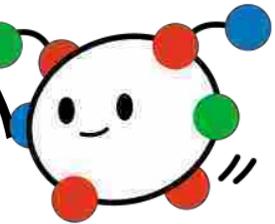
生業

【目指すべき姿】

- ・地域の豊かな資源を活かすことで、外からヒト、モノ、カネが流れ込んでくる
- ・地域の特性に即した地域課題の解決ができる
- ・住む人が幸せを感じる
- ・若い世代の就労・結婚・子育ての希望が実現できる
- ・人口減少率が緩和され、出生数や合計特殊出生率が向上する
- ・資源、人、金が市内で循環する

◆地方自らが力を付け、元気になるチャンスととらえる

目指すべき姿に向かう視点と対応



- ・「強み・特徴」を磨き、伸ばし、活用する

自然資源、食、伝統文化、地域の個性、モノづくり産業、アニメ等

- ・「弱み・弱点」を分析し、強みに変えるチャンスととらえる

人口減少、少子・高齢化、交通の便や立地が悪い、遠慮・へりくだるといった気質

基本的な
視点

課題への
対応

①	人口減少と地域経済縮小の克服	<ul style="list-style-type: none">・ 伝統産業や中小企業の発展・ 新産業の創出や集積、促進・ 若年層、壮年層の転出抑制と転入促進
②	地域の個性を活かし、多様性のある地域の実現	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の個性を見直し、多様な住環境を守る・ 祭や伝統的工芸、食など古くから伝わる文化を磨く・ 南砺を愛し、南砺に集う人を増やす
③	地域資源を活かし循環社会を構築	<ul style="list-style-type: none">・ 様々な産業の連携強化と付加価値の高いものづくり・ ヒト・モノ・カネ・エネルギーの地域内循環の仕組みづくり・ 新たな起業や雇用の機会創出
④	安心してすみ続けられる社会の実現	<ul style="list-style-type: none">・ 様々な人に終の住み処として選んでもらえる地域づくり・ 子育てがしやすく、互いに支え合い、安心できる地域実現・ ゆとりとやすらぎのある社会の実現
⑤	やりたいことができる社会の実現	<ul style="list-style-type: none">・ 市民のやる気を実現できる地域づくり・ 伝統産業の継承や農林業の6次産業化の推進
⑥	若者、女性、高齢者の活躍を支援	<ul style="list-style-type: none">・ 意欲と能力に応じて活躍できる社会を実現・ 若者、女性、高齢者のやる気を支援
⑦	次世代にツケを回さない財政運営	<ul style="list-style-type: none">・ 将来にわたる安定した行財政経営の実現・ 豊かな自然の継承と人とのつながりの維持と発展・ 空き施設、空き家の新たな活用の促進

南砺幸せなまちづくり創生総合戦略の取り組み

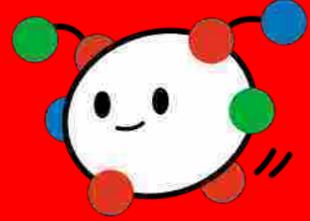
心豊かな「結」と「土徳」のまち創造

心豊かで安心して暮らすことができる社会を実現

- 結婚・出産・子育て・教育の支援
婚活支援、子育て支援、健康寿命延伸、ふるさと教育推進など
- 地域共助の確立
地域包括ケア推進、暮らしやすい地域づくり（公共交通対策、公共施設利便性向上）

多様な仕事を育む

地域課題解決のまち創造



--やりたいこと」が「できる」地域を実現

- 若者、女性がいきいき輝き活躍できる環境整備
起業・就業支援、ファンド組成
- 中小企業活性化、創造型産業構築
中小企業支援、後継者育成、クリエイター集積
- 地域の伝統資源の活用、ブランド商品開発
南砺ブランド商品開発、販売促進、職人養成と伝統工芸維持

南砺版エコビレッジによる 新しいライフスタイルのまち創造

--地域資源を活用・循環させワクワクする「懐かしい未来」を実現

- 地域コミュニティの堅持
コミュニティ支援、地産地消促進
- 循環型社会と新たなライフスタイルの構築
木質バイオマス利活用、森里川海連携
- 行財政効率化の推進
公共施設再編

文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ 交流のまち創造

--ひとと出会い、ひとと深くつながるまちを実現

- ひとと出会い、ひとを呼び込む
移住定住推進、まちづくり塾支援
- 交流人口・貢献市民の拡大
交流観光推進、応援市民制度創設、文化・芸術の魅力創造
- 大学、民間企業等との連携の推進
官民、官学連携事業推進

地域再生 全国21自治体に



2015. 1. 22
首相官邸にて

地域再生計画（高崎市）

- <課題>
- ・超高齢化社会の流行と若者の流出
 - ・地域コミュニティ存続の危機
 - ・観光産業の活性化

- <施策>
- ・高崎市山間地域環境整備推進条例の制定
 - ・地域の価値の引き上げ
 - ・交通滞在型観光による多次層観光の推進

「五箇山地区＝高山・山形・秋田・岩手・山梨」というエリアの各自治体で文化芸術を担い、文化芸術の交流と協働による持続可能な高山・山形地域モデルを創る。

TOGA 国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想
2020年東京オリンピックを機に、アジアにおける文化芸術の聖地を目指す。

- <目標>
- ・五箇山地域の観光泊客数 70,000人 (H27)→90,000人
 - ・若年層の観光滞在・宿泊客数 100人 (H27)→500人 (H33)
 - ・なんとブランド商品の売上げ額 0円 (H27)→50百万円 (H33)

交流協定



地域の価値を引き上げる、観光産業の活性化、観光客の滞在型観光の推進

観光客の滞在型観光の推進、観光産業の活性化、観光客の滞在型観光の推進



定住・空き家対策事業

～南砺市でほっとする暮らし始めませんか（課）～

南砺市 市民協働部

南砺で暮らしませんか！（課）

なんと

なんと く か!
南砺で暮くらひませんか **課**

<http://www.kurashi.city.nanto.toyama.jp/>



南砺市協働のまちづくり支援センター

土日・平日とも午前10時～午後7時

① H21年4月1日 市民協働課 新設
市民と行政の協働のまちづくりを推進する課
1年間は福野庁舎3階で活動
係 ⇒ 市民協働係、広報係

② H22年4月1日 市民協働課
ショッピングセンター「アスモ」に移転



③ H23年4月1日 市民協働課に婚活支援係 新設

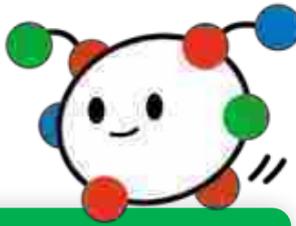


④ H26年4月1日 南砺で暮らしません課 新設
移住定住と婚活支援を推進する課
係 ⇒ 定住空き家対策係、婚活支援係



⑤ H28年4月1日
市民協働課と南砺で暮らしません課が結婚！
「市民協働部 南砺で暮らしません課」が誕生！
係 ⇒ 協働のまちづくり係、広報係
定住空き家対策係、婚活支援係





移住希望者に対し、移住や定住に向けた国や県、市の施策をパッケージ化し、手続きや情報提供をワンストップサービスでサポートすることで、移住への支障を解消します。また、潜在的な都市部の移住希望者へ様々なチャンネルを通して移住情報を伝え、ご本人の移住希望の実現を支援します。

知る・伝える

1. 情報発信事業

移住セミナー出展（7回/年）

移住希望者に対して
「くらしたい国、富山」事業（県事業）を利用し
ふるさと回帰支援センターにおいて
「とやま暮らしセミナーin東京」に出展し
南砺市のPRを行っています。
（6月、7月、8月、10月×2、11月、2月）

移住フェア出展（2回/年）

移住先を漠然と考えている方に
「くらしたい国、富山」事業（県事業）を利用し
「ふるさと回帰フェア」（9月開催）
「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」（1月開催）
に出展し南砺市のPRを行っています。

移住コンシェルジュ事業（9回/年）（新規）

南砺市に移住された地域おこし協力隊員に
移住セミナー、移住フェアに積極的に参加してもらい
移住のアドバイス、体験談等を移住希望者へ紹介してもらっています。

ハウジングライフ（住生活）プランナー認定（新規）

（一社）移住・住みかえ支援機構の「マイホーム借上げ
制度」の行政窓口となっています。

体験する・受入れる

2. 移住準備事業

体験ツアー（4回/年）

移住希望者に南砺市を体験してもらうプログラムです。
（1）山の仕事体験（8月開催1泊2日）
12名参加
（2）親子で体験（9月開催2泊3日）
5家族15名参加
（3）里の仕事体験（12月開催1泊2日）
10名参加
（4）雪国体験（2月開催1泊2日）
11名参加

体験ハウス（3棟）

南砺市が気になった移住希望者に南砺市内の生活を
1名1泊千円で体験してもらいます。
（1）山の生活体験ハウス（西赤尾）
（2）里の生活体験ハウス（太美山）
（3）まちの生活体験ハウス（城端）

空き家バンク制度

南砺市では移住先の選択肢の一つとして空き家を紹介
しています。また、このバンクを利用し契約した場合は、
改修助成しています。

定住促進雇用対策事業（新規）

移住者を積極的に受け入れてもらえる企業に登録してもらい、
雇用に至った場合に月給に対して助成します。

移住・定住へ

3. 定住サポート

引越サポート

ふるさと回帰転入助成制度
移住し、新規就職した場合に、その引越費用に対して
助成します。

家賃補助

民間賃貸住宅居住補助金
移住し、民間賃貸住宅（アパート、貸家）に居住され
た場合に、その家賃を上限に助成します。

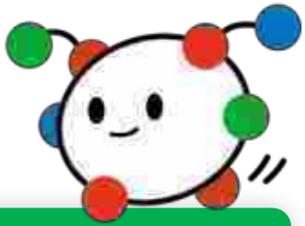
定住補助

定住奨励金
移住し、住宅用地、住宅を購入又は建築された場合
に、奨励金を交付します。

三世帯同居助成

（1）三世帯同居奨励事業
新たに三世帯同居（孫が夫婦）
となった世帯に奨励金を交付し
ます。
（2）三世帯同居推進リフォーム
助成事業
三世帯同居のための住宅改修
工事に助成します。

南砺市定住奨励金



(南砺市に住んでみんなまいけ事業)

定住人口の増加を図るため、2つの奨励金制度を実施しています。

1. 転入奨励金

市外に居住されている方が、南砺市内に定住を目的として宅地と住宅を取得され居住を始めた場合。

- ・新築住宅 100万円+家族加算(1人5万円)
- ・中古住宅 60万円+家族加算(1人5万円)

2. 持ち家奨励金

市内に居住されている方が、南砺市内の新たな用地に住宅を取得され、居住を始めた場合。

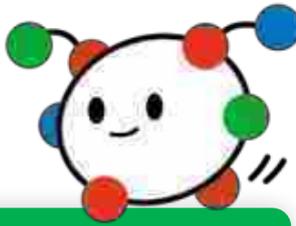
- ・新築住宅 30万円
- ・中古住宅 10万円

※市指定の山間過疎地域で居住する場合は、金額が1.5もしくは2倍になります。



なんと

南砺市民間賃貸住宅居住補助金



(南砺市で暮らしてみんまいけ事業)

■制度内容

南砺市のアパート等の民間賃貸住宅に入居された方への家賃補助

対象世帯	交付金額	交付期間
①転入世帯	月額1万円	1年間
②新婚世帯	月額1万円	2年間
③転入でかつ新婚世帯	月額2万円	2年間 (2年目は1万円)
④転入でかつ学生世帯	月額2万円	2年間
⑤山間過疎地域からの高校生世帯	月額2万円	3年間

転入世帯とは...

南砺市へ転入した日から、民間賃貸住宅に入居した日までの期間が1年未満で、転入の日前1年間市外に居住していた世帯

新婚世帯とは... 婚姻届を提出した日から1年以内の夫婦のいる世帯

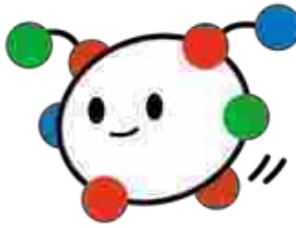
学生世帯とは... 大学・短大・専門学校等の学生のいる世帯

※市指定の山間過疎地域で居住する場合は、金額が1.5もしくは2倍になります。



なんと

南砺市の多世代同居支援事業



南砺市では、次の目的で多世代の同居を進めています。

- 育児への家族のサポート ●子育て世代の生活費軽減
- 老々介護の解消 ●在宅看取りを支える ●空き家の減少

なにより、心のやすらぎや温かみを感じる暮らしができることで、市民の幸福度を向上します。

●三世代同居奨励金

新たに三世代同居（孫が夫婦）となった世帯に奨励金を交付します。

（住替え世帯：月額1万円を1年間、新婚世帯：初年度月額2万円＋2年目月額1万円）

●三世代同居推進リフォーム助成事業

三世代同居のための住宅改修工事に助成します。

（リフォーム経費の1/5）



●孫とふるさと教育事業

祖父母と孫と一緒に市内の美術館や観光施設へ来館された場合、入館料を無料とします。

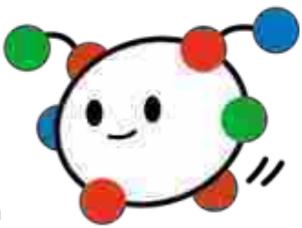
●出生祝い金制度

子どもの誕生をお祝いし、健やかな成長を願って市内共通商品券を贈呈します。三世代同居の場合は増額。

●保育料等軽減事業

保育園や幼稚園、こども園に通うお子さんの保育料等について、多世代同居の場合に30%軽減します。

「孫ターン」で若者が南砺市に移住



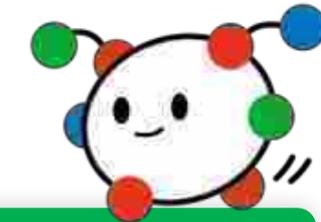
●孫ターンとは・・・

祖父母の地元に移住する | ターンのこと

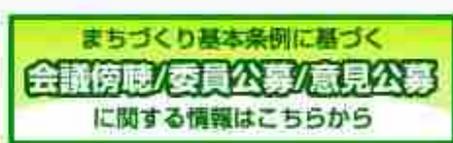
南砺市内の会社に勤めるAさんの例

- ・ 父親が井波出身。小学校から高校時代まで夏や年末年始に父の里帰りに同行、散居村の風景に新鮮な感動を覚えるとともに、物静かな風情にも癒されたとのこと。
- ・ 大学時に希望した職業の募集があり、伸び伸びできる場所が自分に合っているということから、南砺市に移住した。
- ・ 現在は父の実家で祖父母と同居し、市内で勤務する。

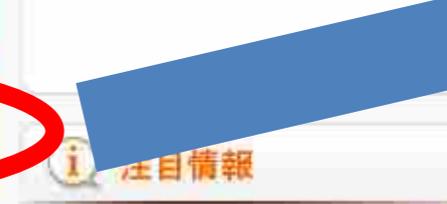
南砺市空き家バンク③



特化したウェブサイト



- 10月22日(木)、井口行政セン...
- 『広報なんと』11月号 (No.1...
- 平成27年度実施南砺市職員採...
- 平成27年度実施南砺市職員採...
- クマの目撃情報[2015年10月...



- 平成28年度保育園・認定こ...
- 平成28年度採用 南砺市職員...
- 富山マラソン2015開催当E...
- 市有地の売却情報(たがいま...



自分にあつたふるさとが見つかるまち。

南砺市は、豊かな自然と誇り高い歴史や文化があり、人情味豊かなまちがあなたをお待ちしています。生まれ育ったふるさとを思い出して、南砺市で暮らしてみませんか？

南砺市から定住までを応援、何でもお気軽にご相談下さい。



- ### お知らせ
- 2015.09.22 10月31日「なんと暮らし移住相談会 in さいたま」を開催します。

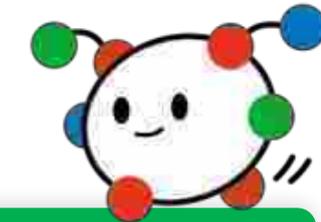
- ### イベント情報
- 2015.09.13 10月25日「長野・新潟・富山・石川 4県合同移住フェア」に出展します。

- 2015.09.13

- 2015.09.13 10/25(日)に東京都有楽町

なんと

南砺市空き家バンク④



特化したウェブサイト

南砺市空き家情報一覧

No.	登録番号	所在地(南砺市)	物件	分類	詳細	物件担当業者	備考
1	N001	〇〇XXX 番地	建物	賃貸	詳細情報 PDF	(株)〇〇不動産 0763-XX-XXXX	
2	N002	□□XXX 番地	建物 土地	売却	詳細情報 PDF	□□□□(株) 0763-XX-XXXX	
3	N003	△△XXX 番地	建物	賃貸	詳細情報 PDF	(株)△△△ 0763-XX-XXXX	

↑
リンク



南砺市空き家バンク

南砺市の空き家情報の 一覧です。

No.	物件外観	所在地	種別	分類	詳細	物件担当業者
New 51		南砺市天神 (福光地域)	中古 住宅	売り 974万円		米原商事(株)
New 50		南砺市城端 (城端地域)	中古 住宅	売り 850万円		米原商事(株)
47		南砺市福野 (福野地域)	中古 住宅	売り 1,000万円		(有) 森田不動産
43		南砺市城端 (城端地域)	中古 住宅	売り 200万円		(有) アタ子不動産
41		南砺市浦町 (福野地域)	中古 住宅	売り 600万円 又は 賃貸 1.5万円/月		(有) 森田不動産

なんと

空き家数 H29.3調査

(2) 空き家等の実態

① 分布状況

空き家数は、世帯数や高齢者数が多い福光地域や井波地域、城端地域等が多い傾向がみられる。また、平地域や利賀地域等の山間部で、世帯数に対する空き家数の比率が高い。

表 地域別空き家数

	空き家数	100世帯当たり 空き家数	世帯数	高齢者数
城端地域	166	5.49	3,021	3,413
平地域	85	24.64	345	425
上平地域	13	6.40	203	265
利賀地域	26	11.45	227	253
井波地域	177	5.83	3,037	3,275
井口地域	7	1.77	396	429
福野地域	161	3.54	4,548	4,471
福光地域	400	6.69	5,981	6,443
計	1,035	5.83	17,758	18,974

資料) 南砺で暮らしません課資料(空き家数/平成29年7月末現在)、

住民基本台帳(世帯数、高齢者数/平成29年3月31日現在)

南砺市

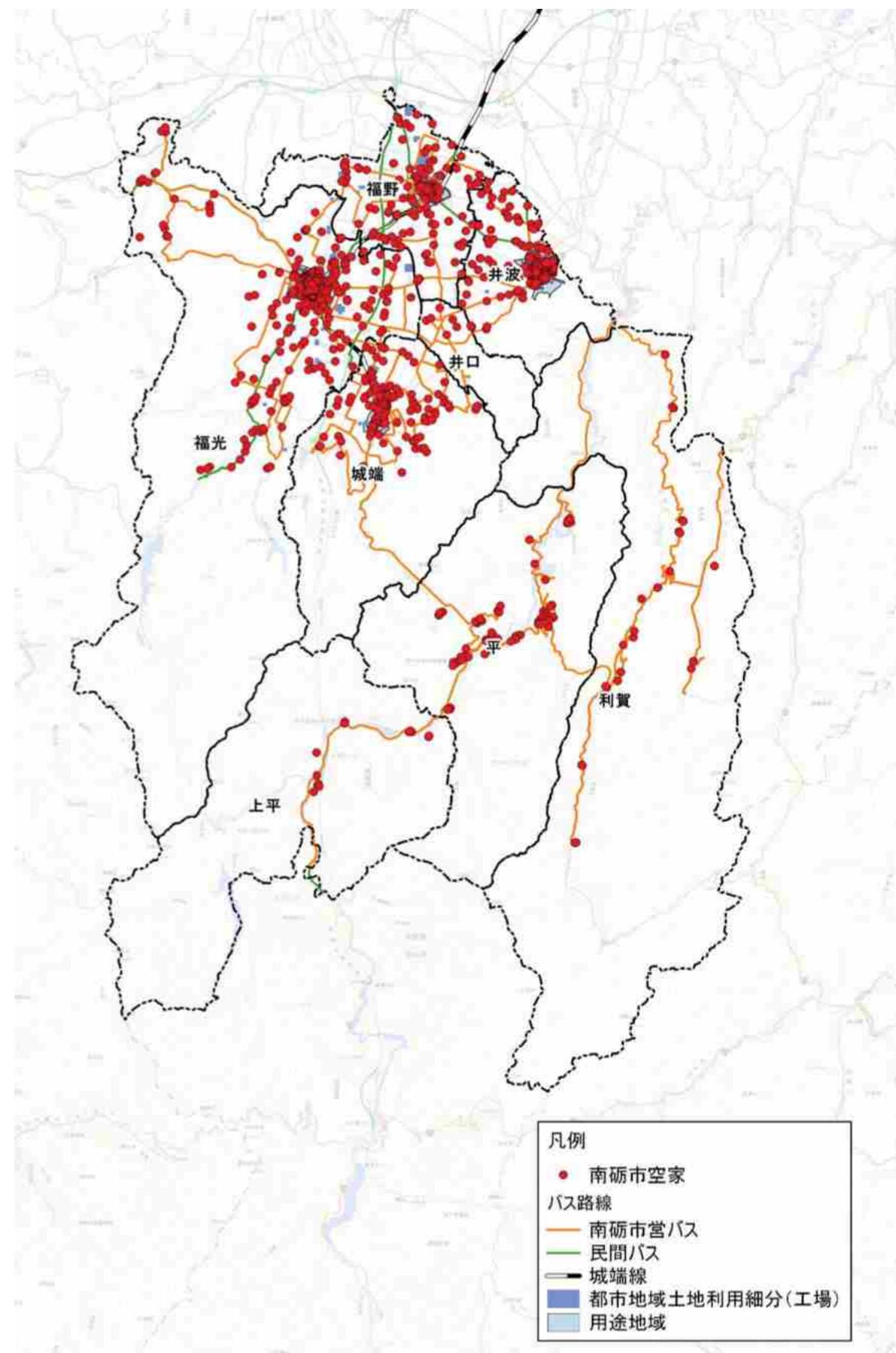


図 空き家分布(用途地域・工場・公共交通との関係)

井波彫刻の職人と交流できるゲストハウス 「BED AND CRAFT」が誕生 —ゲストハウ スを起点に地域全体で観光活性化を目指すコラ リアルチザンジャパン—

山川智嗣 建築家

2017.05.22 富山県



○ BED AND CRAFT プロジェクト (井波地域)

	概 要
経緯等	<ul style="list-style-type: none"> • 建築家や彫刻家などで作る任意団体 (コラレ アルチザン ジャパン) が、古民家等を改修し、ゲストハウスとして活用する取組 • これまでに3棟のゲストハウスを運営 (KIRAKU-KAN、TATEGU-YA、MOMO-HOUSE) • 地元の職人 (漆芸家、彫刻師、仏師) の指導を受け、箸の漆塗りや木彫りスプーン、蓮の皿制作体験が可能 • 地域のカフェや商店、レストランと連携



資料) BED AND CRAFT HP
 ①KIRAKU-KAN、②TATEGU-YA、③MOMO-HOUSE

○ 彌右衛門屋プロジェクト（井波地域）

概要	
経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・市に寄贈された国登録有形文化財（齋賀家住宅）を市が改修し、住民有志で組織された彌右衛門屋プロジェクトが維持管理・運営（平成29年4月22日オープン） ・ショップ（着物レンタル・着付け、フェアトレード）や学習会（歴史の学習会、趣味の集まり、茶会（茶室）、展示会（蔵））で活用 ・サポーターからの応援金を募集し、運営・管理費用に充当



資料) 南砺市HP

○ 城端生き生きプロジェクト（城端地域）

概要	
経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・城端地域の住民や町おこしアドバイザー、一級建築士、大学研究員などの応援者で設立した一般社団法人城端景観・文化保全機構により、空家となった町家を取得・再生に取り組む事業 ・城端曳山祭時の庵唄の所望宿やまちづくり勉強会、庵唄の練習会場としての活用や所有者からの委託による空家管理等を実施



資料) 富山県HP（国登録有形文化財の登録について）：荒町庵

○ 世界遺産に住まんまい家プロジェクト（平地域）

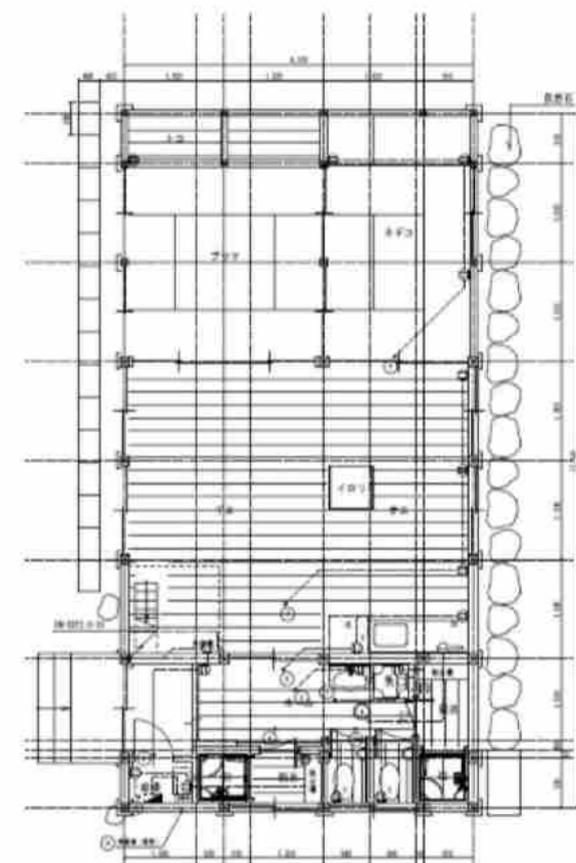
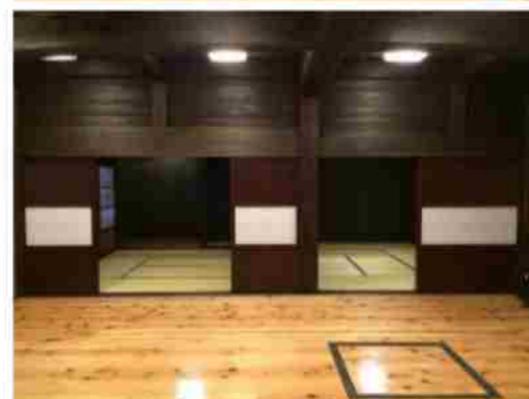
概要	
住宅概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地：国選定相倉重要伝統的建造物群保存地区内 ・名称等：旧高田家 屋号「七平（しちべい）」 ・所有者：南砺市 ・管理者：財団法人世界遺産相倉集落保存財団 ・構造等：木造2階建て 延べ197.71㎡
経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者の村外転出に伴い、住宅を市に寄附 ・南砺市と相倉関係者の協議により居住者を募集 ・募集対象者の年齢や地域コミュニティの維持、集落一帯が文化財であることを理解し保存に協力することなどを条件として募集した結果、全国から54組の応募があり、最終的に1世帯を選考 ・選考から漏れた2世帯は、五箇山地域に移住



資料) 財団法人 世界遺産相倉合掌造り集落保存財団HP

○ 金沢大学五箇山セミナーハウス（平地域）

概要	
住宅概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地：南砺市相倉126番地1 ・名称等：旧窪田家：屋号 助市（すけち） ・建築面積：81.15㎡ ・構造等：合掌造り茅葺き平屋建て
経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・南砺市と金沢大学が包括連携協定を締結し、セミナーハウスを開所 ・昭和40年代後半から空家となっていた家屋を市が改修 ・地域社会の形成および発展に寄与することを目的に、教育・研究・社会貢献活動などに活用 ・世界遺産相倉合掌造り集落でのゼミ開講や地域住民との交流・田舎暮らし・ボランティア活動などによる地域活性化にもつながるものと期待されている



資料) 南砺市資料

山間過疎地域支援事業

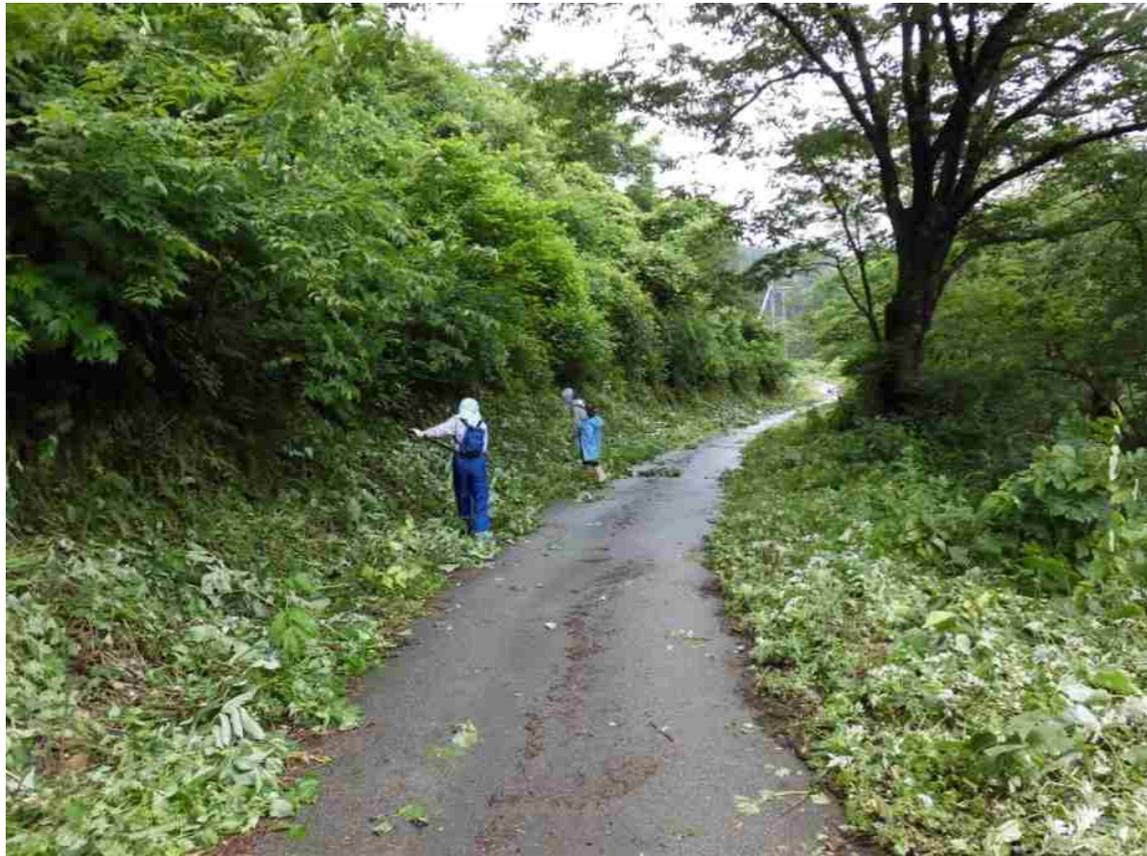
- 山間過疎地域とは

平成25年4月1日に施行された「南砺市山間過疎地域振興条例」に定められた下記の地域を指す

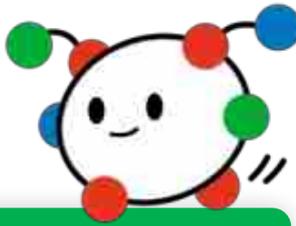
- ①過疎地域自立促進特別措置法に規定する過疎地域で、旧平村、旧上平村、旧利賀村の集落
- ②辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に規定する地域の集落 上原（城端）人母・野地（福光）
- ③集落の過半が概ね標高200m以上にある集落
南原・瀬戸（城端）、大野（井口）や糸谷新・吉見（福光）など
- ④1戸でも標高200m以上にある集落や、1戸でも辺地の要件に該当する20世帯未満の集落



6月29日 17名隊員初出動 吉見地内



南砺市の移住体験ハウス①



南砺市福光太美山地域 里山

太美山体験ハウス



南砺市

なんとに
住んでみられ

体験ハウス

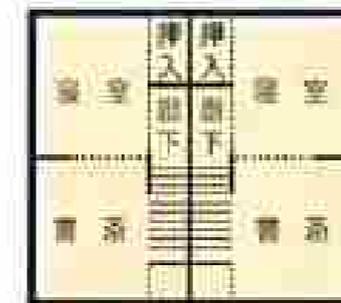
experience house

木造1階建て / ---
4人程度迄利用可能 / 駐車場有

城端体験ハウス



南砺市城端地域 街中



木造2階建て / ---
4人程度迄利用可能 / 駐車場有

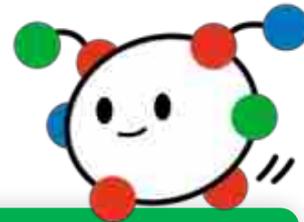
利用日数

2棟体制 / H24:32日、H25:44日、H26:23日

3棟体制 / H27:36日、H28.12月末:152日

なんと

南砺市の移住体験ハウス②



にしあお お 西赤尾体験ハウス



木造2階建て / 2LDK
4人程度迄利用可能 / 駐車場有



南砺市五箇山上平地域 山間地

宿泊費用・経費について

1名様 1泊 **1,000円** でご利用になれます。(小学生以下は無料)

住宅の借用料については、住宅使用料、光熱水費（電気、ガス及び水道料金）、備え付けの家電製品、寝具類の使用料を含みます。寝具類（布団）は4人分を備えてあります。宿泊者が4人を超える場合は、お手数ですが持ち込み等各自で用意ください。

- *利用期間は、1泊（2日）～30泊（31日）までとします。
- *住宅内は禁煙です。ペット同伴のご利用はご遠慮ください。
- *終了時には、お手数ですがアンケートにご協力ください。

詳しくは下記まで問い合わせください

南砺市 南砺で暮らしません課

〒932-0231 富山県南砺市山見1739-2

井波コミュニティプラザ「アスモ」2階

TEL: 0763-23-2037 / FAX: 0763-82-0170

HP: <http://www.kurashi.city.nanto.toyama.jp/>

受付時間: 午前10時～午後7時 (火曜・第4月曜・年末年始はお休み)

Access

西赤尾体験ハウス

東海北陸自動車道
五箇山により 車で5分

城端体験ハウス

東海北陸自動車道
福光により 車で10分

太美山体験ハウス

東海北陸自動車道
福光により 車で20分



なんと

さすらいワーク in 南砺 プロジェクトイメージ

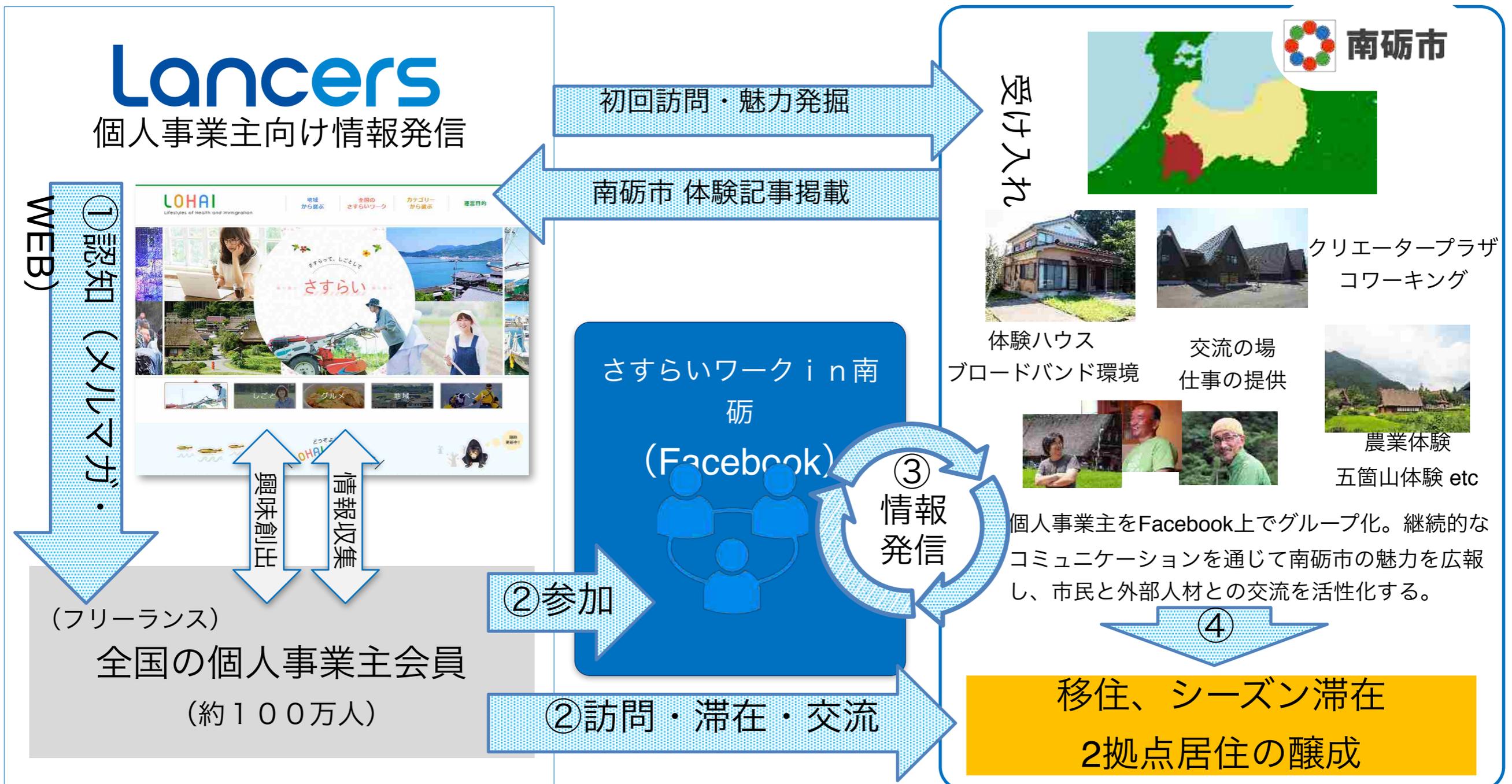
移住ニーズの高い個人事業主に向け、「南砺に滞在して働く」魅力を情報発信。
南砺への訪問意欲を醸成し、地域の活動人口を増やす。

ランサーズ（受注社情報）

インターネット上で仕事を獲得し、納品まで出来るサービスを提供。
個人事業主がお客様を獲得するために登録、利用をしており、同サービスを日本で初めて開始。日本最大級の規模を誇る事業者。

フリーランスの特徴

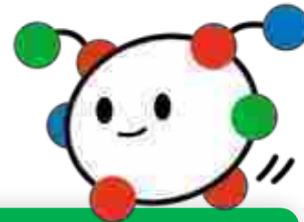
特定の企業に就労しておらず、自らのスキルで独立し複数の企業と契約を結び仕事をする。時間や場所に拘束されていないことから、地方への移住ニーズが非常に高く、8割の個人事業主が移住に前向き。



グループバスの連携 「副業」



南砺市の移住体験ツアー



親子で体験編

富山県南砺市

なんと 移住体験ツアー

これから始まる南砺物語

中学生以下のお子さまと一緒に申し込みください

ゼロ一風 いっぺん、「なんと」に来てみられ～。おいで下さい 多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

定員

5組先着順

(1組最大5人まで)
最少催行人員2名

参加費

大人 10,000円(税込)

中学生 3,000円(税込)

中学生未満無料

(集合場所から解散場所までの
交通費、宿泊費、食事代、傷害保険料を含む)
参加決定後に指定口座へお振込ください。

参加資格

南砺市への移住に興味、
感心のある親子または、
これから子育てしたい夫婦

- ・親子の申込みは中学生以下のお子さまと一緒に申し込みください。
- ・裏面の「ご注意事項」も必ずご一読ください。

なんと

9月17日(土)

- 11:00 富山駅北口 集合
- 12:30 南砺市内で昼食
- 13:30 南砺市五箇山 世界遺産菅沼合掌造り集落
集落散策及び資料館等見学 など
- 17:00 宿泊施設 着
- 18:00 夕食・移住者交流会・民謡鑑賞等
- 【宿泊】五箇山 五箇山荘 【食事】昼・夕

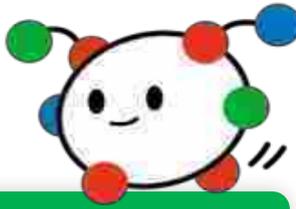
9月18日(日)

- 9:30 受入れ地域(井波) 到着
彫刻体験、郷土料理づくり体験
- 12:00 昼食・住民交流・地域説明等
- 14:00 地域の空き家見学
- 17:00 宿泊施設 着
- 17:30 移住者体験談
- 18:30 夕食・移住者や住民との交流会
- 【宿泊】井波 秀夢木楽屋又はBED AND CRAFT たてぐや
- 【食事】朝・昼・夕

9月19日(月・祝)

- 8:30 地域内視察
(車窓から学校、病院、商店等を見学)
- 10:00 そば打ち体験と昼食
- 12:30 アンケート記入
- 15:00 富山駅北口 解散
- 【食事】朝・昼

南砺市のランキング



2017年版 第5回 日本「住みたい田舎」ベストランキング発表

人生がもっと豊かになる!

2017年
2月号
800円

田舎暮らしの本

総合部門

- 1位 鳥取市 鳥取県
移住後の生活水準が充実
- 2位 豊後高田市 大分県
ついに5年連続ベスト3入り
- 3位 南砺市 富山県
移住者が半年で114人

若者世代部門

- 1位 栃木市 栃木県
- 2位 静岡市 静岡県
- 3位 北社市 山梨県

子育て世代部門

- 1位 栃木市 栃木県
- 2位 豊田市 愛知県
- 3位 静岡市 静岡県

シニア世代部門

- 1位 豊後高田市 大分県
- 2位 北九州市 福岡県
- 3位 静岡市 静岡県

発表!
住みたい田舎
ベストランキング

2017年版
第5回 日本

移住者数、移住者支援策、自然環境、災害リスク、医療環境、子育て環境など、全161項目のアンケートを実施

全国500市町村がエントリー

いそがしいジビエで地域おこし
人の情にはだされて四国にお湯路移住

【複じ込み付録】
全国12エリア別「住みたい田舎」ベストランキング
北海道、東北、北関東、首都圏、北陸、甲信、東海、近畿、中国、四国、南九州、北九州の各エリアのベスト5を一半公開!

総合部門3位の富山県南砺市にある世界文化遺産「五箇山の合掌造り集落」

「田舎暮らしの本」宝島社

2017年2月号

「住みたい田舎」
ベストランキング
総合部門第3位!

ただ今、南砺暮らしを満喫中!
移住者レポート
2月号から早速移住に決意
山川智嗣さん、さつきさん、夫妻
移住者は移住後の生活環境が良くなることを重視。移住後の生活環境が良くなることを重視。移住後の生活環境が良くなることを重視。

山田さんに移住する
山田さんは移住後の生活環境が良くなることを重視。移住後の生活環境が良くなることを重視。移住後の生活環境が良くなることを重視。

田中幹夫 南砺市長より 受賞メッセージ
「全国住みたい田舎ベストランキング」で総合部門第3位に選ばれた南砺市。移住者が増え、地域が活性化しています。

住めば納福 南砺市の魅力
自然環境と伝統文化の美しさ。移住者が増え、地域が活性化しています。

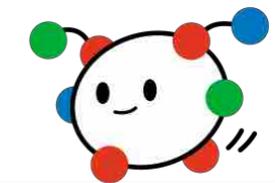
南砺市のアンケート結果
移住者が増え、地域が活性化しています。

92
移住者が増え、地域が活性化しています。

なんと



南砺市のランキング2018



人口10万人以下の都市部門
総合部門 4位

若者世代が住みたい田舎部門
第8位

子育て世代が住みたい田舎部門
第17位

新潟を含めた北陸地区 総合1位

2018年版 第6回 日本「住みたい田舎」ベストランキング発表!
人生がもっと豊かになる!

2018年 2月号 定価 800円

田舎暮らしの本

自然が豊かな田舎まち
人口10万人未満の
小さなまちランキング

総合
① 北杜市 山梨県

若者世代
① 臼杵市 大分県

子育て世代
① 常陸太田市 茨城県

シニア世代
① 辰野町 長野県

便利で暮らしやすい地方都市
人口10万人以上の
大きなまちランキング

総合
① 北九州市 福岡県

若者世代
① 栃木市 栃木県

子育て世代
① 糸島市 福岡県

シニア世代
① 北九州市 福岡県

【編み込み付録】あなたのまちもランクイン!?
第6回 日本「住みたい田舎」
ベストランキング
全国12エリア別
トップ5!
北海道、東北、北関東、首都圏、北陸、甲信、
東海、近畿、中国、四国、北九州、南九州の
各部門のトップ5市町村を発表!

2018年版
第6回日本
「住みたい田舎」
ベストランキング
発表!

大きなまち & 小さなまち
計8部門の1位を決定!

過去最大
671市町村が
参加!

移住支援策、自然の豊かさ、医療、仕事、子育て、
災害リスク、移住者数など、194項目のアンケートを実施。
いま一番暮らしたい田舎がわかる!

南砺で暮らしませんか (課)

婚活支援

連携

婚活・移住定住事業実績

移住・定住対策

①婚活倶楽部なんと (平成30年8月31日現在)

あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト (うち市外124名) 男性279名 (うち市外37名)
 AIP48 5回開催 ・ 結婚力向上セミナー 2回開催
 ・ 写真お見合い会 2回開催

②婚活応援団 なんとおせっ会

<会員数128名>外 国会議員5名 (名誉会員)

- ・ お見合い会、事前相談会
- ・ 情報交換会の開催

<成婚数> (平成30年8月31日現在)

年度	結婚を機に市内居住 (出生数)
平成23年度	1組 (0人)
平成24年度	9組 (0人)
平成25年度	20組 (2人)
平成26年度	15組 (7人)
平成27年度	15組 (17人)
平成28年度	18組 (10人)
平成29年度	19組 (19人)
計	105組 (62人) 会員成婚149組

③出会いイベント補助金 (補助限度額)

- ・ 各種団体 (JA、地域団体など) の行うイベントに助成

④成婚者祝い金 (夫婦とも1年以上市内に居住見込み)

- ・ 会員が成婚した場合に交付 (会員一人当たり2万円の商品券)
- ・ 夫婦どちらかが婚姻届提出時に40歳に達していた場合は2万円を加算

⑤結婚記念品の贈呈 (揮毫額)

- ・ 市民が成婚した場合に贈呈

【全国自治体の中の南砺】

★田舎暮らしの本 (2018年2月号)
 日本「住みたい田舎」ランキング
 小さなまち 総合部門 第4位
 「北陸エリア」総合第1位

★田舎暮らしの本 (2017年2月号)
 日本「住みたい田舎」ランキング
 総合部門 第3位

★田舎暮らしの本 (2016年2月号)
 「北陸エリア」第1位
 「シニア世代が暮らしやすい田舎」部門
 第5位 (総合第10位)

①定住奨励金 (市内で新たに土地・建物を取得した場合に交付)

- ・ 転入 新築100万円 中古60万円 (家族加算あり)
- ・ 転居 新築30万円 中古10万円 (家族加算なし) H26.4~H30.8末

実績 (転入)	内訳 (主なもの)			参考
39件 (94人)	石川県13件 (37人)	大阪府6件 (11人)	東京都3件 (7人)	県内81件

②民間賃貸住宅居住補助金 (賃貸借契約に基づく家賃補助)

- ・ 新婚世帯 (市内転居) 1万円/月 (2年間) ・ 転入世帯 1万円/月 (1年間) 等 H26.4~H30.8末

実績 (転入)	内訳 (主なもの)				参考
100件 (158人)	石川県28件 (48人)	東京都12件 (19人)	愛知県8件 (21人)	県内113件	

③定住促進雇用対策補助金 (平成27年度新規)

5年以上市外に居住していた者を新規に正規雇用した企業へ助成

実績	内訳 (主なもの)			H27.4~H30.8末
37件 (70人)	東京都5件 (5人)	沖縄県2件 (5人)	石川県3件 (6人)	

④ふるさと回帰転入助成金

南砺市へ転入の際、引越し経費の負担軽減を図るため対象経費の2分の1 (上限10万円) を助成。 H26.4~H30.8末

実数	内訳 (主なもの)			H26.4~H30.8末
87件 (145人)	神奈川県5件 (10人)	東京都16件 (26人)	鳥取県1件 (1人)	

⑤移住体験ツアー

移住希望者を対象に南砺を体験するツアーを開催。 H26.4~H30.8末

26年度	平成27年度	28年度	29年度
1回2組5名参加	4回28組49名参加	3回13組29名参加	4回20組40名参加

⑥なんとで住んでみられ体験ハウス (計2棟)

H28.2月~城端、太美山



年度	利用件数	利用日数	実人数
平成26年度	5	23	9
平成27年度	8	36	12
平成28年度	32	212	58
平成29年度	33	112	58
平成30年度	14	69	36
計	92件	452日	173人

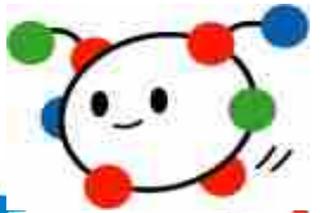
<<<<<<<<< 今後の展開など >>>>>>>>>>

- ★他自治体、他団体との連携を図りながら花嫁・花婿を呼び込む。
- ★出会いから結婚、妊娠、出産、育児、子育て、保育、教育へと切れ目ない支援の場 (南砺市版ネウボラ) を経験豊富なおせっ会さんに期待しながら婚活を支援。
- ★移住者受入れ地域 (自治会・集落) の育成と山間過疎地域への支援を継続。
- ★地方創生の流れや北陸新幹線開業効果等により婚活や移住定住に関する自治体・団体等の視察は増加している。引き続き、婚活・移住定住施策先進自治体としてさらなる事業展開を図る。

H30.3.17

あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト

“あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト” A



なんとく南砺で暮らしませんか!

ロゴマーク
平成23年度より I P 4 8

～富山県南砺市結婚活動支援事業～

○ 婚活応援団なんとおせっ会さん

(会員125名(女性87名男性38名)、名誉会員5名)
婚活倶楽部なんと会員の成婚へ向けたサポーターとして活躍中。これまで、写真お見合い会を23回開催している。延べ約1,000名が参加、お見合いを約300組設定した。



おせっ会さんと結婚相談会



おせっ会さん写真お見合い会



○ 婚活倶楽部なんと

(会員：男性263名,女性226名 計489名)
これまで婚活(パーティー等を56回開催して、延べ約1,320名が参加、205組のカップルが誕生。個人スキルUPセミナーを54回開催して、延べ約1,000名が受講した。(H26～28年度、国地域少子化対策強化交付金を活用)

○ なんと婚活大使

(男性大使1名、女性大使3名 計4名)
南砺市にゆかりのある方々で、本市に理解と認識を持ち、県外においてその情報を幅広く展開することが期待できる方について、市長が委嘱。

○ 都市との交流婚活事業

「モテモテなんとお見合い大作戦」

女性は関東、中京、関西、九州から参加をいただき、市内の独身男性と集団お見合い。これまで5回開催。
延84名参加、内県外47名

◎カップル誕生

平成25年度	14組	平成26年度	9組
平成27年度	8組	平成28年度	9組
平成29年度	7組	◎成婚カップル	計5組

ご結婚おめでとうございます

Since 2011. 4. 1～2018. 7. 12 現在

成婚カップル

105組成立

(会員成婚卒業147組)

平成23年度	1組
平成24年度	9組
平成25年度	20組
平成26年度	15組
平成27年度	15組
平成28年度	18組
平成29年度	19組
平成30年度	8組



婚活イベント風景

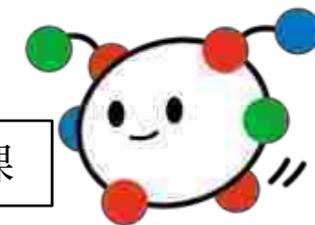


- 出会いイベント補助金の交付
- 成婚者祝い金の交付
- 結婚記念品の贈呈
- 結婚活動地域サポート事業



H27少子化対策大臣と
なんとおせっ会さん

南砺市応援市民制度の概要



応援市民とは

平成28年10月より登録開始

地方創生推進課

市外に住みながらも、「南砺が大好きである」「南砺を愛してる」など、南砺の応援団として活動していただける方を「応援市民」として募集します。

応援市民は、市民とともに南砺市を支え、盛り上げていただく大切なパートナーとなります。登録制度とすることで、南砺市への愛着、応援をさらに深めていただくとともに、市からも情報提供や特典などで応援活動をお手伝いしていきます。

制度概要



地域の現状課題

- ・祭り、イベントなどの担い手不足
- ・高齢化等による草刈り、除雪などの担い手不足
- ・もっと地域に活力・元気がほしいなど

応援市民の活躍

- ・南砺市を元気にする活動の企画、実施
- ・地域でのボランティア
- ・地域でのイベント参加
- ・二地域居住
- ・南砺市の情報発信
- ・南砺市への情報提供
- ・南砺市への意見・提言
- ・ふるさと納税

など

効果

- ・地域の課題が解決される
- ・地域が元気になってくる
- ・地域を支える人達が増えてくる
- ・交流人口が増える
- ・南砺への関心、愛着を持った人が増える
- ・ふるさと南砺への愛着が増す
- ・移住・定住を考えてもらえる

など

応援市民の想い

- 市外に住んでいるが・・・
- ・南砺が好き。
 - ・ふるさと南砺が懐かしい。心配だ。
 - ・南砺をもっと元気にしたい。
 - ・南砺の役に立ちたい。 など

制度特典



- ・南砺市が「登録者のふるさと」になります。
- ・登録証を交付します。
- ・応援市民の名刺をお渡しします。
- ・アンケートなどをとおして、南砺のまちづくりに参加できます。
- ・応援活動をサポートする情報を提供します。

など

目標人数



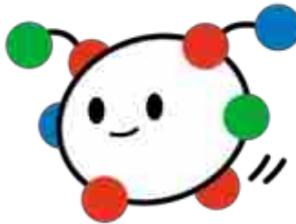
- ・H31（2019年）までに、800人
- ・H72（2060年）までに、5,000人

※ 南砺市人口ビジョンでは、H72(2060年)の人口目標を30,000人としており、あわせて応援市民5,000人の獲得を目標としています。

子育て支援 義務教育環境は自信があります。



南砺市型「ネウボラ」推進事業



—南砺市すこやか親子支援事業—

健康課

【目的】

- 安心して子どもを産み育てられる
- 産みたい人が適齢期に産める
- 虐待が予防できる

南砺市母子保健事業	
不妊治療費助成	
母子健康手帳の交付	
妊娠届出時アンケート	
風しん予防接種費助成	
妊婦健診	
妊婦訪問・全初妊婦訪問	
出産支援交通費助成	
新生児・乳児家庭全戸訪問	
マイナンバーカード連携 親子支援アプリ	
乳幼児健診・教室 ・養育支援訪問	
イクメン応援事業	

すこやか親子支援センター

福光・平保健センター
健康課保健係



子育て支援プラン

妊娠届出全妊婦・乳幼児健診時必要な児に作成、コーディネート



すこやか親子
相談事業

産後ケア事業

おっぱい
相談事業

母子保健コーディネーター

保健師・助産師・管理栄養士



ワンストップ
での支援に
つなげる

連携

- 関係課・施設
子育て支援センター
福祉課・こども課（要保護自動児童対策協議会等）
児童相談所
保育園・認定こども園

連携

- 関係機関
・ 各医療機関
・ 医師会
・ 助産師
・ 母子保健推進員連絡協議会
・ 食生活改善推進協議会
・ ヘルスボランティア連絡会
・ 地区組織

南砺市教育委員会の学校運営サポート体制①

◆児童・生徒数（平成30年5月1日現在）

小学校 9校 : 2, 217人

中学校 8校 : 1, 225人 計3, 442人

1. 市単独予算による人員配置

①スクールアドバイザー 1人

＊事故や問題行動等に機動的に対応

②早期支援コーディネーター 1人

＊幼稚園、保育園からの教育相談、支援体制の強化

③スクールソーシャルワーカー（SSW） 1人

④スクールカウンセラー（SC） 2人

南砺市における学校運営サポート体制②

⑤なんとっ子まなびサポーター 18人 (小：10人、中：8人)

＊学級担任や教科担任と協力して学習のつまずきを解消

⑥スタディ・メイト (特別支援教育支援員) 42人 (小：33人、中：9人)

＊発達障害等の児童・生徒の学校生活を支援

⑦適応指導員 14人 (小：6人、中：8人)

＊児童・生徒が学習や集団生活になじめるよう援助

⑧適応指導教室 (いおう教室) 指導員 3人

＊長期欠席の不登校児童・生徒の学習援助と復帰支援

⑨外国語指導助手 (ALT) 8人

⑩市単講師 3人 (複式学級解消：2人、部活動支援1人)

南砺市における学校運営サポート体制③

2. 国・県費補助による人員配置

①スクール・サポート・スタッフ 2人

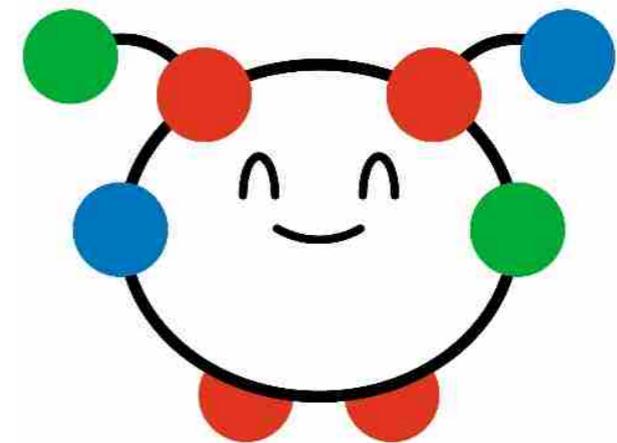
*教員が行う印刷、データ入力、採点業務等の業務補助

②中学校部活動指導員 5人

*5校に配置、部活動顧問教員の立ち会い無しで指導と
大会等への引率が可能

③スポーツエキスパート 59人

*全ての中学校の運動部に配置



文部科学省委託事業

「人口減少社会におけるICTの活用による
教育の質の維持向上に係る実証事業」

遠隔地域をネットワークで結び、
協働学習を通して
新たな教育の形をつくる

—学校教育におけるICTを活用した実証事業の取組—

富山県 南砺市教育委員会

南砺市のへき地・小規模小中学校の抱える問題

- ・ 子供同士で教え合い、学び合うには人数的にも限界
- ・ 他者と関わる中で身に付けていくたくましさの不足

■学級数及び児童生徒数（平成28年5月1日現在）

利賀小学校（3学級 12人）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
複式1学級	複式1学級				1学級
1人	2人	3人	2人	0人	4人

上平小学校（6学級 81人）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級
13人	14人	14人	11人	15人	14人

井口小学校（5学級 45人）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1学級	1学級	複式1学級		1学級	1学級
9人	12人	5人	2人	8人	9人

利賀中学校（3学級 13人）

1年生	2年生	3年生
1学級	1学級	1学級
4人	2人	7人

平中学校（3学級 50人）

1年生	2年生	3年生
1学級	1学級	1学級
15人	21人	14人

井口中学校（3学級 36人）

1年生	2年生	3年生
1学級	1学級	1学級
5人	12人	18人

- 学校間が離れ、統合が困難
- 地域の活力でもある学校の存続が必要
- 学校間をネットワーク化して大きな教育の輪をつくることで小規模校での教育手法を再構築



平成27年度～29年度
文部科学省委託事業

「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業（学校教育におけるICTを活用した実証事業）」



ICTを活用した遠隔協働学習の取組事例

- 山間へき地校の利賀小学校と上平小学校、小規模校の井口小学校の3校間をつなぐ算数科や総合的な学習の時間における遠隔協働学習を実施。今年度は中学校3校間の道徳における取組も加わりました。
- タブレットに書き込んだ考えを交流させながら算数科の問題を多様な方法で解いたり、地域づくりへの互いの思いをまとめて市長へ提案したりする授業等を展開。

井口小



利賀小



上平小



市長へ提案



移住が移住呼ぶ

平成29年8月1日
北日本新聞より



交流会に集まった相倉の4家族20人（南砺市報）

1966年
(S41)
1人
2011年
(H23)
51人



山々に囲まれた相倉集落。近年移住してくる人が相次いでいる（南砺市報）

相倉合掌造り集落（南砺）

子育て世代集い活気

緑の山々に囲まれた桂湖（南砺市桂・上平）のほとり。子どもたちのさやかな声が響く。平地城の世界文化遺産・相倉合掌造り集落。暮らす親子の交流会が、7月下旬に開かれた。

集まった4家族20人の中に、2年前に金沢市からリターンしてきた東山真さん（35）の姿があった。同世代が、子どもたちとわいわい暮らしていたのは大きかったですね。無邪気に走り回る子どもたちを目を細めながら、故郷に戻った決めた手を覚えてくれた。

相倉集落は市街地から離れた山あいにある。冬が厳しいこともあって、若者は進学や就職を機に転出し、高齢者は平野部で暮らす親類の元に移り住んでいた。1989年に170人いた住民基本台帳上の人口が、2011年には51人になった。

長く続いた過疎の流れが変わったのは近年だ。婿入りやリターンによる移住が相次いだ。嵐山市出身の中田祐希さん（37）が07年に、高岡市出身の中島一司さん（37）が11年に婿入り。それぞれ4人、2人の子に恵まれた。2人が中心になって進めた集落の空き家に移住者を募るプロジェクトにより、13年には相田豊一さん（38）が1人、4人で茨城県からリターン。その後、子が1人増えた。

移住者が集まってきて故郷に活気が生まれたことが、東山さんのリターンを後押しした。東山さんは、集落に子どもが増えたことで「にぎやかだった自分の幼い頃と同じような環境で子育てができると思った」という。石川県志賀町出身の妻、美笑さん（36）も「ママ友になつてくれそうなの。近いお母さんがいから」と反対することはなかった。

移住が移住を呼ぶ好循環が生まれた相倉。そのきっかけとなった「婿入り組」の中田さんと中島さんは「集落が元気になる土台をつくるのができたならうれしい」と言い、「子どもたちが将来、帰ってきたいと思えるような生き生きとした相倉をみんなで作っていききたい」と笑みを浮かべた。

（福光・城端支局長 中島慎）

2007年
(H19)
から婿入り、
リターン、
リターン
↓
今では4家族
20人が

次 第

- 1、南砺市のまちづくり
- 2、南砺市の課題
人口問題と急激な少子化 長寿化
- 3、財政状況 行財政改革
- 4、公共施設再編 合併による2倍の公共施設がある
- 5、消滅するまち 増田レポートショックから 地方創生
- 6、南砺型地域包括ケアシステム 医師不足から
- 7、小規模多機能自治へ 新たな住民自治のあり方
- 8、エコビレッジ構想 SDGsへ
- 9、南砺幸せ未来基金の設立に向けて
- 10、農村文明創生日本塾の立ち上げ
- 11、その他 文化政策 アニメほか

地域包括ケアシステム実践先進地 南砺

南砺市と市立医療機関 2008年4月の概要

南砺家庭・地域医療センター
2008年2月
福野病院（50床）を診療所化

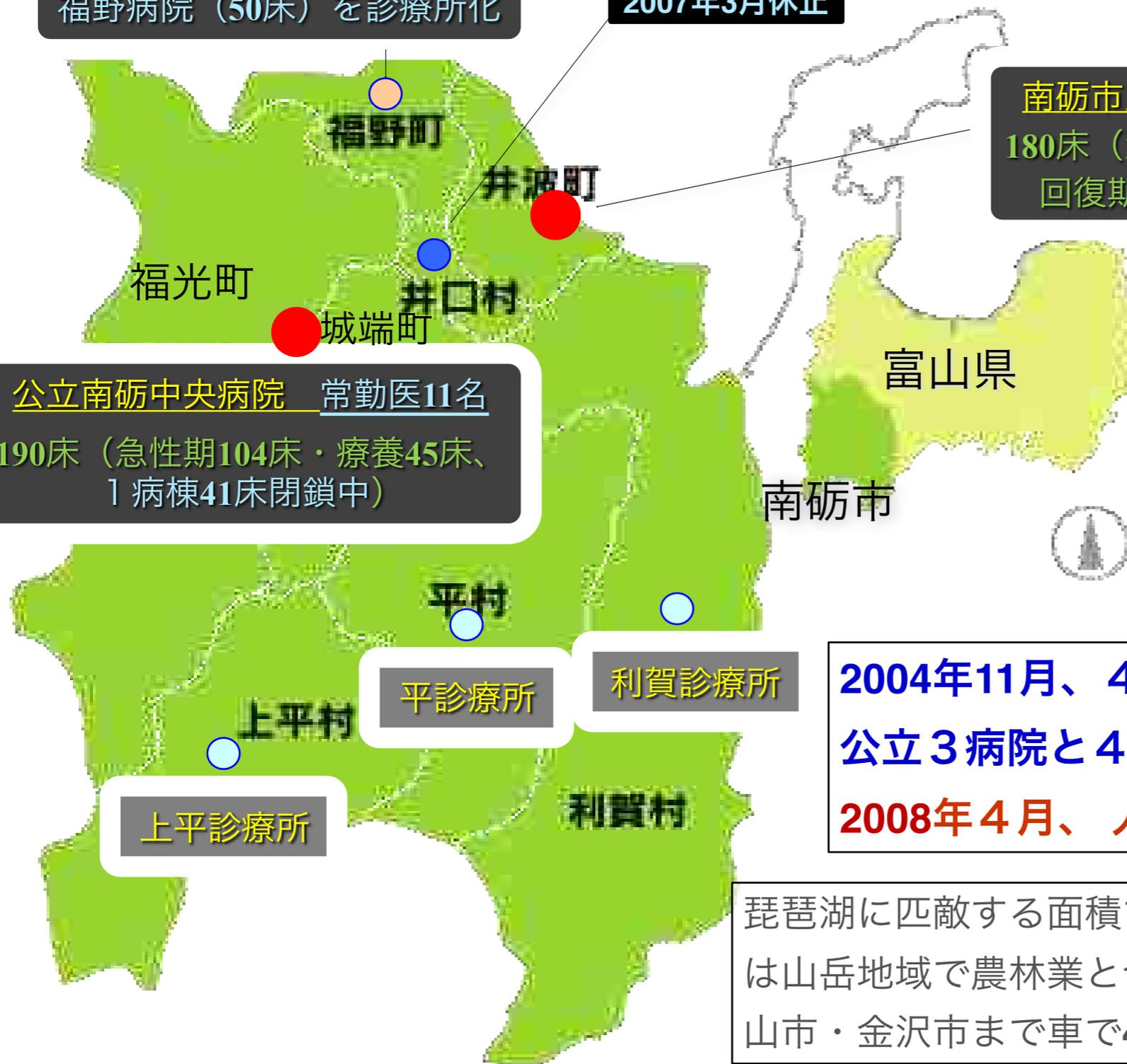
井口診療所
2007年3月休止

南砺市民病院 常勤医15名
180床（急性期3病棟144床、
回復期リハ1病棟36床）

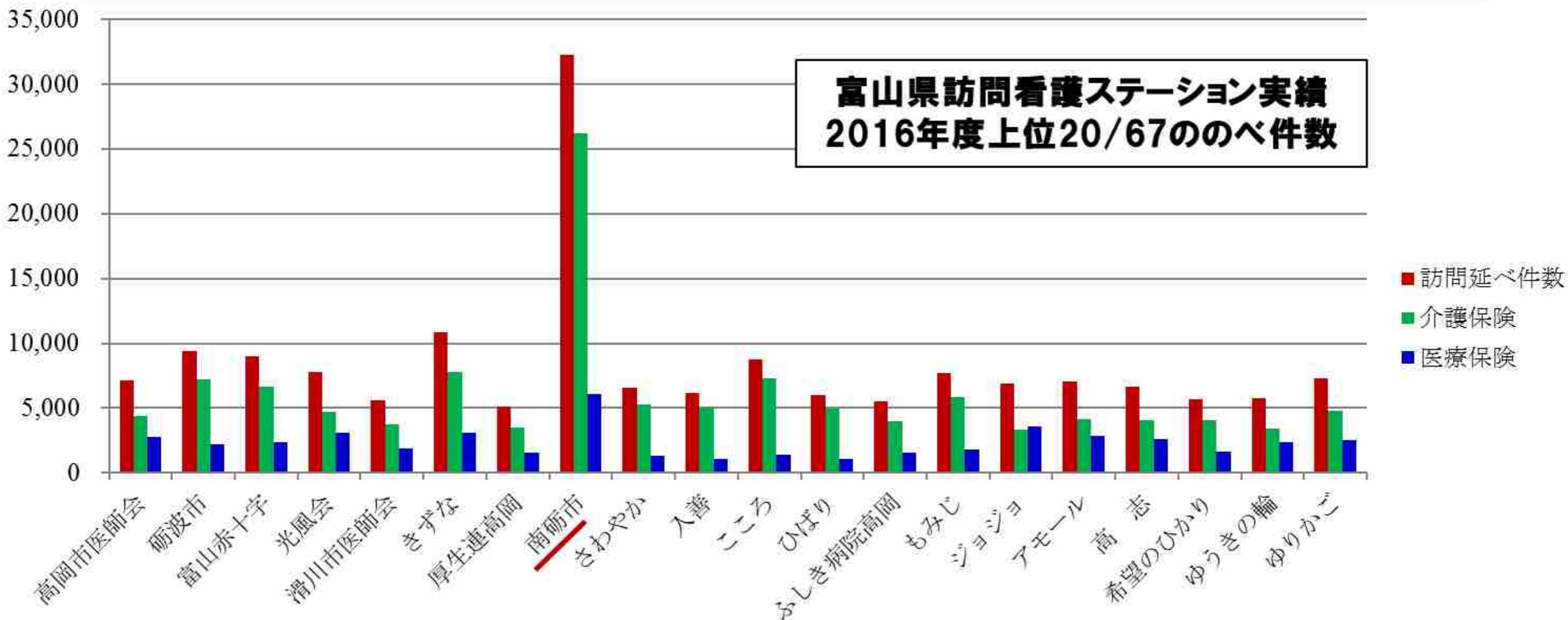
公立南砺中央病院 常勤医11名
190床（急性期104床・療養45床、
1病棟41床閉鎖中）

2004年11月、4町4村が合併し南砺市が誕生
公立3病院と4診療所の全て、医師不足で赤字経営
2008年4月、人口約5.7万人、高齢化率約29.6%

琵琶湖に匹敵する面積で約80%が森林。人口は北部に集中、南部は山岳地域で農林業と合掌造り集落やスキー場等の観光資源。富山市・金沢市まで車で40分程



訪問看護師・リハビリ職；市民病院と訪問看護STとの人事交流



南砺市介護福祉支援センター

訪問看護ステーション



看護師18名



PT・OT・ST計9名

ホームヘルプ
ステーション



在宅介護支援
センター

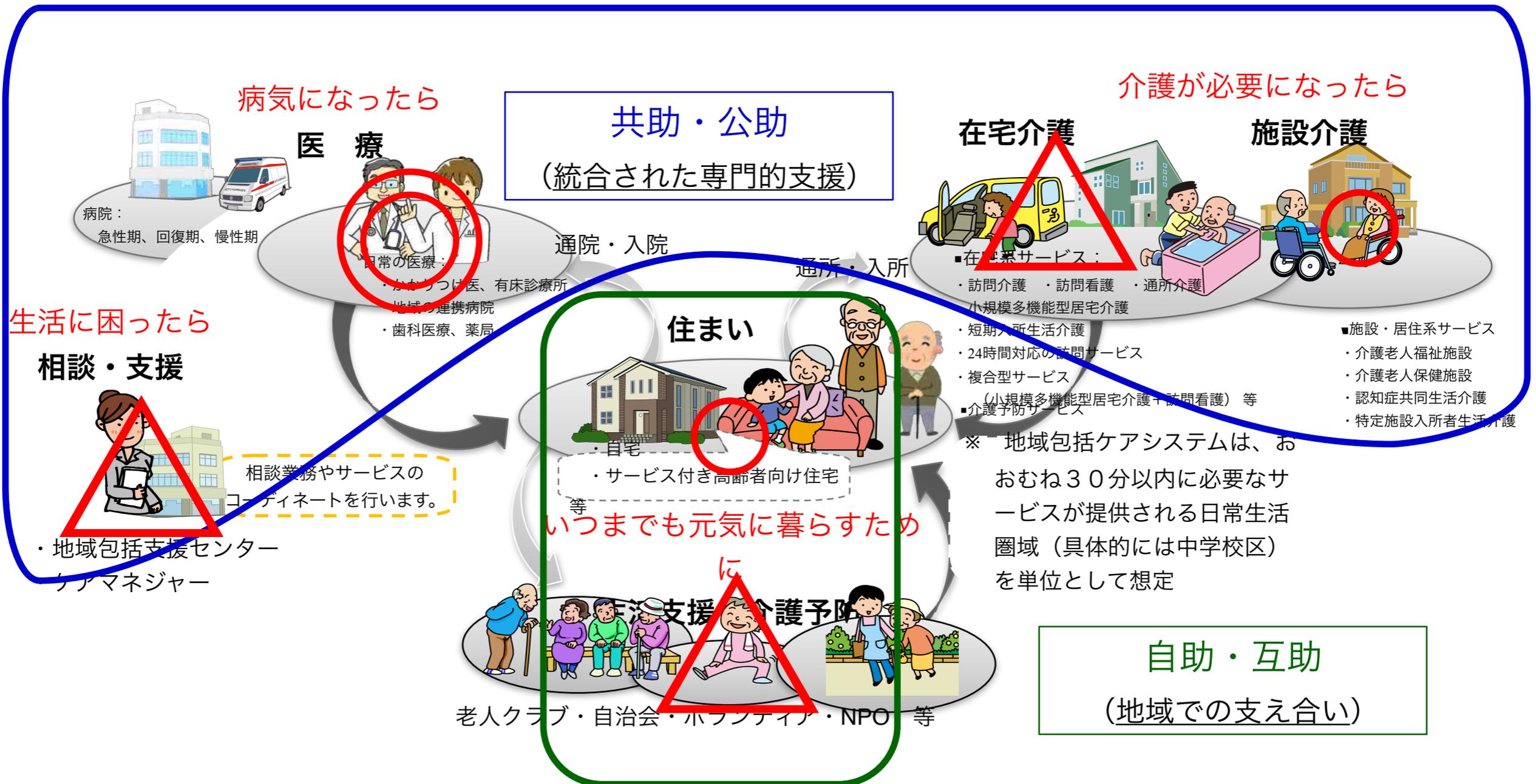


ケアマネジャー9名

2014年度、南砺市の地域包括ケアシステムの状況

相談・支援窓口、在宅介護と生活支援・介護予防の強化が必要

地域包括ケアシステム（安心して暮らせるまちの姿・まちぐるみで支え合う仕組み）



南砺市医師会地域医療連携部会

2010年6月より隔月、2014年度毎月開催 在宅医療と介護の連携構築

困難事例を通し、各専門職の課題解決能力向上と連携で、在宅生活の限界点を改善

参加者；開業医・病院勤務医、歯科医、薬剤師、保健師、訪問看護師、リハビリ（PT・OT・ST）、歯科衛生士
介護支援専門員、社会福祉士、訪問介護士、地域包括支援センター、保健所、市社会福祉協議会など



医師会、訪問看護ステーション、公立病院の連携

- 1) 24時間・365日の診療や看取りへの支援
- 2) 訪問診療材料の管理への支援
- 3) 急性増悪時や緊急避難的入院の受け入れ

第3水曜日午後7時30分～8時30分
2015年4月15日 参加者50名
事例をグループワークし、結果を発表

医療・介護連携の拠点

井波高跡地 市ケアセンター起工



【南砺】 南砺市の医療・介護・福祉の連携拠点となる地域包括医療ケアセンター(仮称)の起工式が3日、同市北川(井波)の旧南砺総合高校井波高校跡地の建設地で行われた。来年1月のオープンを目指す。

鉄骨2階建て約2460平方メートルで、福野、井口両地域に分散していた市地域包括医療・ケア局の関係課と市地域包括支援センターを集約。隣接する南砺市民病院や訪問看護ステーションとの連携を強化し、在宅医療や介護のさらなる充実を目指す。井波保健センターも入り、健康づくりか



起工式の神事に臨む田中市長(左)

保健・医療・介護・福祉
業務現場の統合



南砺市民病院隣に地域包括ケア実践の拠点構築
2016年2月 地域包括ケアセンター起工式
2016年12月 センター完成竣工式
2017年1月4日 地域包括医療ケア部業務開始

- 1、高齢者；地域包括支援センター
- 2、障害者・児；福祉課 障害福祉係
- 3、子育て；保健センター（健康課）
- 4、生活困窮者；福祉課 生活福祉係

地域ケア個別会議

自立支援型ケアマネジメント；「何をしてほしいか」⇒「何ができるようになりたいか」

自立（自律）支援へ情報共有、課題分析、解決策立案と実行



司会

書記

事例提供者

医師

理学療法士

助言者

作業療法士

精神保健福祉士

訪問看護師

地域包括支援センター

2016年4月開始 地域包括ケアセンター多目的研修室

参加者；地域包括ケア課・地域包括支援センター職員

専門職（医師、訪問看護師、PT・OT、社会福祉士等）

在宅介護機能強化（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）へ介護人材の育成



南砺地域包括ケア推進

南砺市で2日、介護が必要なお年寄りを在宅できめ細かくケアする「24時間地域巡回型訪問介護サービス」の新たな事業所と、「こじも医療センター」がオープンした。同市は介護と医療サービスを一体的に提供する「地域包括ケア」を積極的に進めており、子どもからお年寄りまで全世代型ケアへの進化を目指す。

南砺市では「北部定期巡回成果」と話していた。

平野部全域をカバー

24時間巡回型訪問介護

南砺市の社会福祉法人福寿会（理事長・田中幹夫市長）の新たな「24時間地域巡回型訪問介護サービス」事業所は、同市福光（天神町）の「こじも」併設した「サービスエリア」に同市福光、城端地域、福野地域にある既存事業所と合わせ、同市の平野部全域をカバーできるようになった。

需要増 福光に事業所

このサービスは、ホームヘルパーが1日に数回、介護が必要なお年寄り宅を訪れ、食事や排せつ、入浴の介助をするほか、体調の急変時には早朝や深夜でも短時間で駆けつける。介護の必要度が高い人や、一人暮らしなど家庭の介護力が低い人の在宅生活を可能にする重要なサービスと位置付けられる。

2日は現地で開所式があり、田中理事長と南部センターの中島隆代、北部センターの村井眞須美両所長らがくす玉を割った。田中理事長はサービス拡大について「大きな成果」と話していた。

2015年度 介護職員初任者研修15名終了

2016年4月 福野・井波・井口地区開始

2018年4月 福光・城端地区開始



自民県連

おやつを食べるお年寄りを介助する新橋さん（奥）（前日、南砺市松原の福寿会）

「調剤師としての経験を活かして、介護現場で活躍してほしい」と話している。

「調剤師としての経験を活かして、介護現場で活躍してほしい」と話している。

介護人材地域から発掘

南砺市では10人が職員に

「調剤師としての経験を活かして、介護現場で活躍してほしい」と話している。

「調剤師としての経験を活かして、介護現場で活躍してほしい」と話している。

地域創生人材育成事業雇用型訓練 10名

育成人材が介護現場に就職

2016年1月29日読売新聞記事

南砺市民病院常勤医の推移（人）

40

30

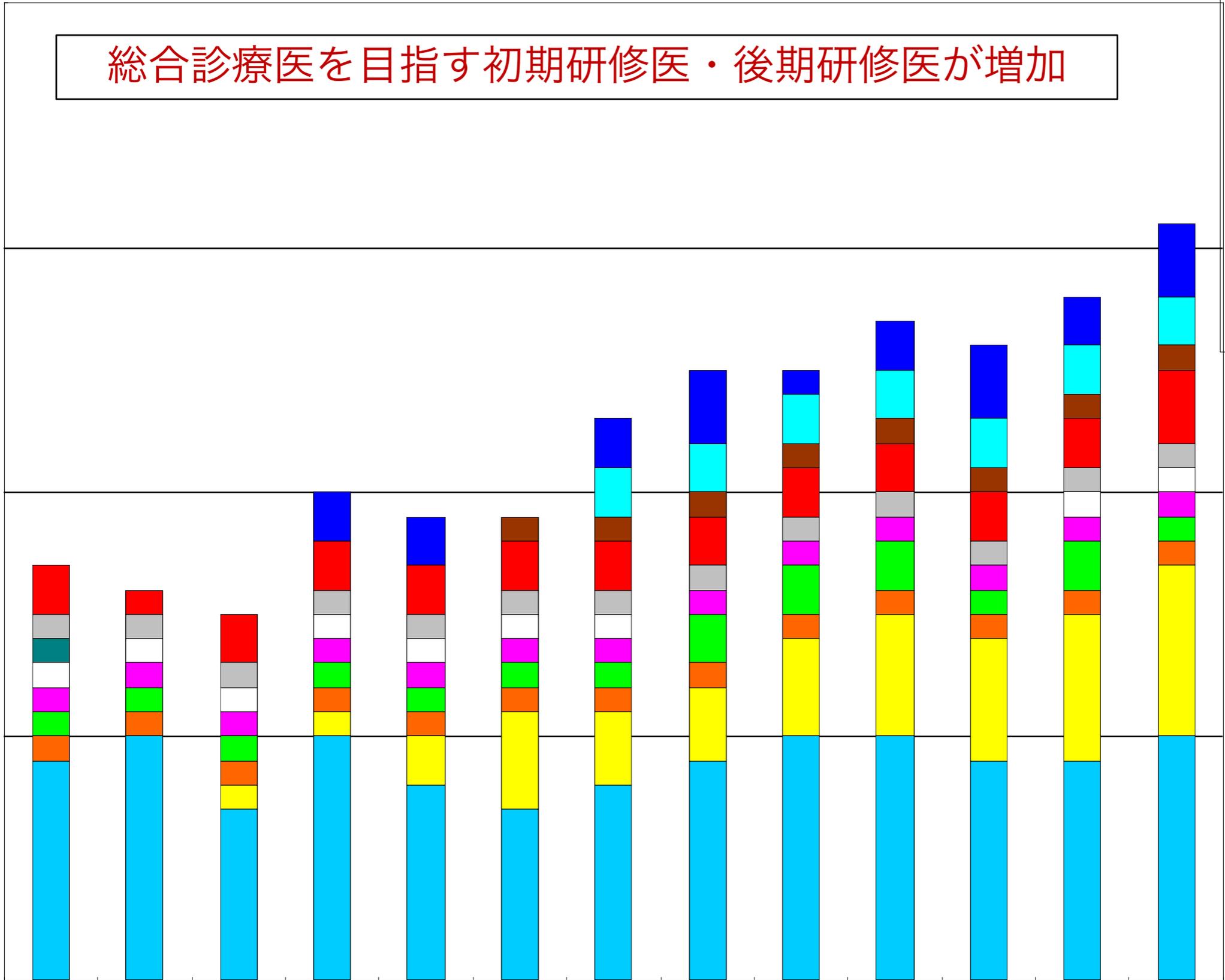
20

10

0

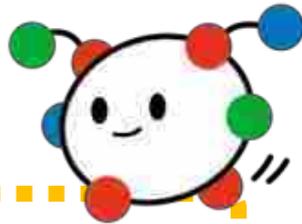
総合診療医を目指す初期研修医・後期研修医が増加

- 初期研修医
- 歯科口腔外科
- 泌尿器科
- 外科
- リハビリ科
- 耳鼻科
- 放射線科
- 眼科
- 整形外科
- 小児科
- 総合診療医
- 内科



18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度

南砺市が目指す「地域包括ケア」の姿



共助

医療

- 病院
- 訪問診療
- かかりつけ医
- 訪問看護



■ 在宅医療・介護連携支援センター



介護

- 在宅サービス
- 地域密着型サービス
- 施設サービス



自助

- ・ 自らの健康管理（セルフケア）
- ・ 市場サービス利用
- ・ 生きがいを持つ
- ・ 生活支援サービスの担い手になる
- ・ 他人に援助を頼む

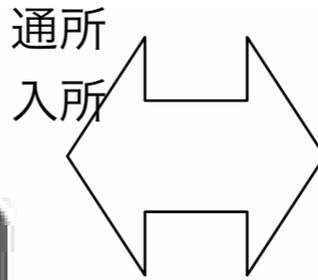
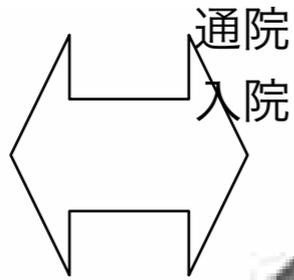
住まい



● 興味・関心チェックシート

● 基本チェックリスト (25項目)

通院
入院



サービス調整

統合するケア

◆ ケアマネジャー

- (居宅介護支援事業所)
- ・ ケアプランの作成
 - ・ 評価、モニタリング

◆ 社会福祉協議会

- ・ ケアネット事業
- ・ ふくし総合相談事業
- ・ 日常生活自立支援事業

◆ 地域包括支援センター

- ・ ケアマネジメント
- ・ 介護予防事業
- ・ 地域ケア会議
- ・ 成年後見制度

公助

- ・ 高齢者福祉事業
- ・ 生活保護
- ・ 人権擁護
- ・ 虐待対策
- ・ 認知症集中支援

南砺市型養生訓

互助

地域の助け合



南砺市の「5つのまちづくり規範」

1. 幸せに生涯を過ごせる協働のまちづくり
2. 健康寿命を伸ばし、互いに支え合い、独居・老々世帯も安心して暮らせるまちづくり
3. 地域包括医療・ケア（地域包括ケア）で家族の絆と地域の絆を結ぶまちづくり
4. 介護が必要になっても、家族と共に安心して暮らせ、自宅で穏やかな死が迎えられるまちづくり
5. 一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり

互助

生活支援・介護予防



地域の助け合い

介護予防・日常生活支援総合事業

事業（チェックリスト）該当者

▼通所型サービスB（住民主体）

- ・サロン型ミニデイサービス

▼訪問型サービスB（住民主体）

- ・掃除 ・洗濯 ・ベッドメイク
- ・衣類整理補修 ・調理、配下膳

▼生活支援サービス（多様な主体）

- ・配食 ・見守り

一般高齢者

▲一般介護予防事業

- ・交流サロン

▲ケアネット事業

- ・見守り、安否確認
- ・買物、除雪etc.

★地域での「協議体」の設置（地域を基盤とするケアの構築）

- ・自治振興会、地区社協、民生児童委員、公民館、ケアネット、NPO、老人クラブ、ボランティア団体、農協、民間企業、食生活改善推進員etc.

★地域の方針・視点・価値観・文化の共有（規範的統合）

- ・地域住民の自立支援に向けた地域の基本方針を定め、その方針を地域住民全員で共有し、地域の資源を統合していくことが重要である。
- ・高齢者支援に向けた話し合い、認知症サポーター養成講座の開催etc.

★地域での人づくり（人材育成）

- ・地域医療・地域活性化マイスター養成講座
- ・南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会 ・介護職員初任者研修etc.

南砺市が目指す地域包括ケアの「5つのまちづくり規範」

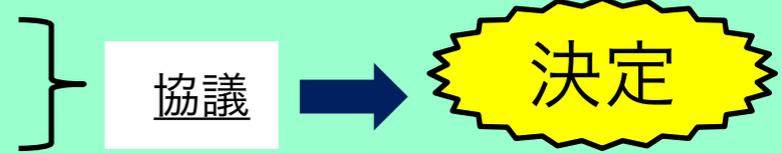
1. 幸せに生涯を過ごせる協働のまちづくり
2. 健康寿命を伸ばし、互いに支え合い、独居・老々世帯も安心して暮らせるまちづくり
3. 地域包括医療・ケア（地域包括ケア）で家族の絆と地域の絆を結ぶまちづくり
4. 介護が必要になっても、家族と共に安心して暮らせ、自宅で穏やかな死が迎えられるまちづくり
5. 一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり

南砺市の地域包括ケアを推進する行政の仕組み（課題解決へ地域マネジメント）



地域包括ケア協議会（仮称）

- ・ 地域包括ケアシステムの構築の基本方針に関わる件
- ・ 保険・健康、医療、介護、福祉等の重要事項に関わる件



<メンバー> 市長、副市長、地域包括医療ケア部長、市立病院責任者、地域包括ケア課顧問等



地域
包括
ケア
セン

部門連携会議（仮称）

- ・ 課題解決に向け、部門（課）の連携で具体的に協議

<メンバー> 地域包括ケア部長・次長、課題解決の担当部門（課）など関係職員



地域ケア推進会議（部内各課）

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた現状と課題の確認、課題解決に向けた実践
- ・ 課題解決に向けた地域資源の構築

<メンバー> 地域包括ケア課・地域包括支援センター、社会福祉協議会、居宅介護支援事業所、各サービス事業所 など



地域ケア個別会議

- ・ 本人意向や生活、病気や身体・生活上の障害把握
- ・ 各課題の分析評価、適切な解決策の策定

<メンバー>
介護支援専門員・サービス事業所、
地域包括ケア課・地域包括支援センター
助言する専門職
(医師、看護師、リハビリ、福祉・介護職など)



サービス担当者会議

- ・ 本人意向や生活、病気や身体・生活上の障害把握
- ・ 課題の分析、適切な解決策の策定・実行



<メンバー>
利用者・家族、関係する住民、
介護支援専門員、医療・介護専門職など



南砺市がめざすまちづくり（住み慣れた町で安心して暮らせるまちづくり）

世話をする・される関係 → まちぐるみで支え合う仕組み

共助・公助

住民が自立・自律への努力を行い
専門職や行政などが支援する関係

医療・看護



病院
訪問診療
かかりつけ医
訪問看護

介護・リハビリテーション



在宅サービス
地域密着型サービス
施設サービス

保健・福祉



高齢者福祉事業
生活保護
虐待対策
人権擁護
認知症集中支援

自助・互助

いつまでも元気に暮らすために
生活支援・介護予防



老人クラブ、自治会、
ボランティア、NPO 等

地域包括ケアシステム

支援を必要とする住民



支援を必要とする住民
高齢者、子育て、障がい者・見
貧困、引きこもり 等



地域包括支援センター
ケアマネジャー

小規模多機能自治

- ◆組織・拠点づくり
- ◆人材の確保・育成



住民参加

B型サービス

週1運動サロン

第8期 地域医療・地域活性化マイスター養成講座

Community-Campus Partnership for Health Care



2009年10月；第1期開講、50名
2017年度の9期までで、390名養成

富山大学総合診療部



田中南砺市長

第20回 南砺の地域医療包括・ケアを守り育てる会 2016年2月13日



特別講演；講師 南砺市長 田中幹夫
南砺市の地域包括医療・ケア構築に向けて ～5
つのまちづくり規範～

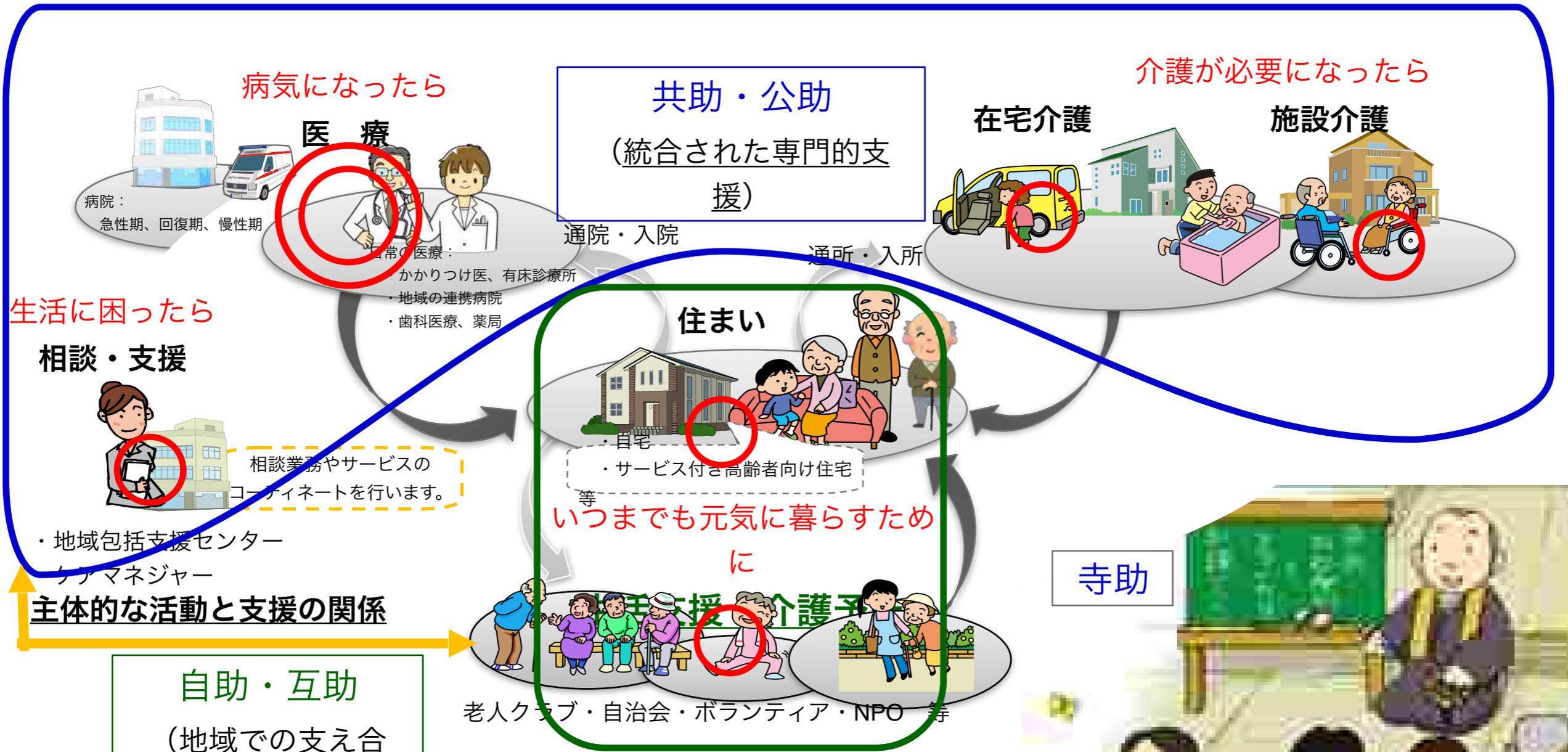
話題提供

- ・なんと住民マイスターの会の活動
- ・マイスター五箇山の会の活動
- ・地域包括ケアステーションの活動
- ・介護職員人材育成の現状
- ・生活支援モデル事業の状況

会場；ア・ミュールホール、参加者約100名

地域包括ケアシステム（安心して暮らせるまちの姿・まちぐるみで支え合う仕組み）

南砺市の地域包括ケアシステムの目標と今後



地域包括ケアが完成しても、死への恐怖・苦悩は解消されません。死に向き合い、人生を見つめ直し、幸せな「人生の最終章」へ、死を受け入れる努力と、社会に報謝する利他の生き方が大切です。

乗り越えるべき死の壁で苦悩される住民を、地域の宗教家の方々が諭し導く活動で救済し、支え合うまちづくりへの参加を期待します。



【本紙記者の取材】... (Text continues with details of the event and the individuals involved.)

「南砺市民病院長 瑞泉寺に呼び掛け



瑞泉寺の住持（右）と南砺市民病院の院長（左）が、瑞泉寺で話し合っている。

【本紙記者の取材】南砺市に所在する瑞泉寺の住持と南砺市民病院の院長が、瑞泉寺で話し合っている。住持は、病院の院長に、瑞泉寺の歴史や文化について話している。院長は、瑞泉寺の歴史や文化について話を聞きながら、瑞泉寺の歴史や文化について話している。

南砺市民病院の院長は、瑞泉寺の歴史や文化について話を聞きながら、瑞泉寺の歴史や文化について話している。住持は、病院の院長に、瑞泉寺の歴史や文化について話している。

住持は、病院の院長に、瑞泉寺の歴史や文化について話している。院長は、瑞泉寺の歴史や文化について話を聞きながら、瑞泉寺の歴史や文化について話している。

院長は、瑞泉寺の歴史や文化について話を聞きながら、瑞泉寺の歴史や文化について話している。住持は、病院の院長に、瑞泉寺の歴史や文化について話している。

若いと死なないからいい

次 第

- 1、南砺市のまちづくり
- 2、南砺市の課題
人口問題と急激な少子化 長寿化
- 3、財政状況 行財政改革
- 4、公共施設再編 合併による2倍の公共施設がある
- 5、消滅するまち 増田レポートショックから 地方創生
- 6、南砺型地域包括ケアシステム 医師不足から
- 7、小規模多機能自治へ 新たな住民自治のあり方
- 8、エコビレッジ構想 SDGsへ
- 9、南砺幸せ未来基金の設立に向けて
- 10、農村文明創生日本塾の立ち上げ
- 11、その他 文化政策 アニメ 他

人口減少時代の
住民自治のあり方を考える
小規模多機能自治へ！

南砺市は、これまでの20年と、これからの20年は違う

	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
計 (人)	62,965	54,724	51,454 ▲18%	44,863	38,178 ▲25%
0~14歳	9,334	6,435	5,688 ▲39%	4,368	3,428 ▲39%
15~64歳 (A) (生産人口)	39,848	31,261	27,162 ▲31%	22,305	18,714 ▲31%
65歳~ 高齢者率	13,783 21.9%	17,028 31.1%	18,604 36.2% +16%	18,190 40.5%	16,036 42.0% ▲13%
75歳~	5,780	9,813	10,198 +16%	11,470 +12%	11,009 ▲4%
85歳~ (B)	1,379	2,937	3,855 +60%	4,444 +15%	5,357 +20%
A÷B	28.9人	10.6人	7.0人	5.0人	3.4人

住民と行政・専門家が不都合な事実 (情報) を共有する事が大切

認知症や障害者等を不幸と考え排除する社会から、地域で共に生きる「地域共生社会」へ。住民は、行政・専門職等と現状を共有し「幸せに暮らせるまちづくり」に主体的に参加しよう。

「小規模多機能自治」とは

- 小規模⇒ 旧小学校単位＝
現在の自治振興会単位
- 多機能⇒ 地域の課題解決に結びつく多面的な
活動 行事⇒事業・サービス/経営へ
(例) 住民主体で行う介護保険の生活支援
「通所サービスB」事業など
- 自治 ⇒ 行政ではなく、**住民自治！**

地方自治＝**団体自治**＋**住民自治**（車の両輪）

※団体自治＝地方公共団体（市役所など）

いつの間にか、団体自治に依存的（お客さん）となり、自ら暮す地域への愛着が薄くなり、誇りも持ちにくくなっている

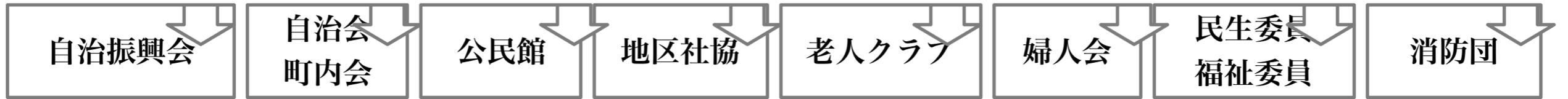
「小規模多機能自治」とは

- **小規模**⇒ 旧小学校単位 =
現在の自治振興会単位
- **多機能**⇒ 地域の**課題解決に結びつく**多面的な活動
イベント⇒サービス／経営へ

(例) 地域包括ケア事業の住民主体で行う生活支援事業など
- **自治** ⇒ 行政ではなく、**住民自治!**

南砺市型小規模多機能自治の体制整備

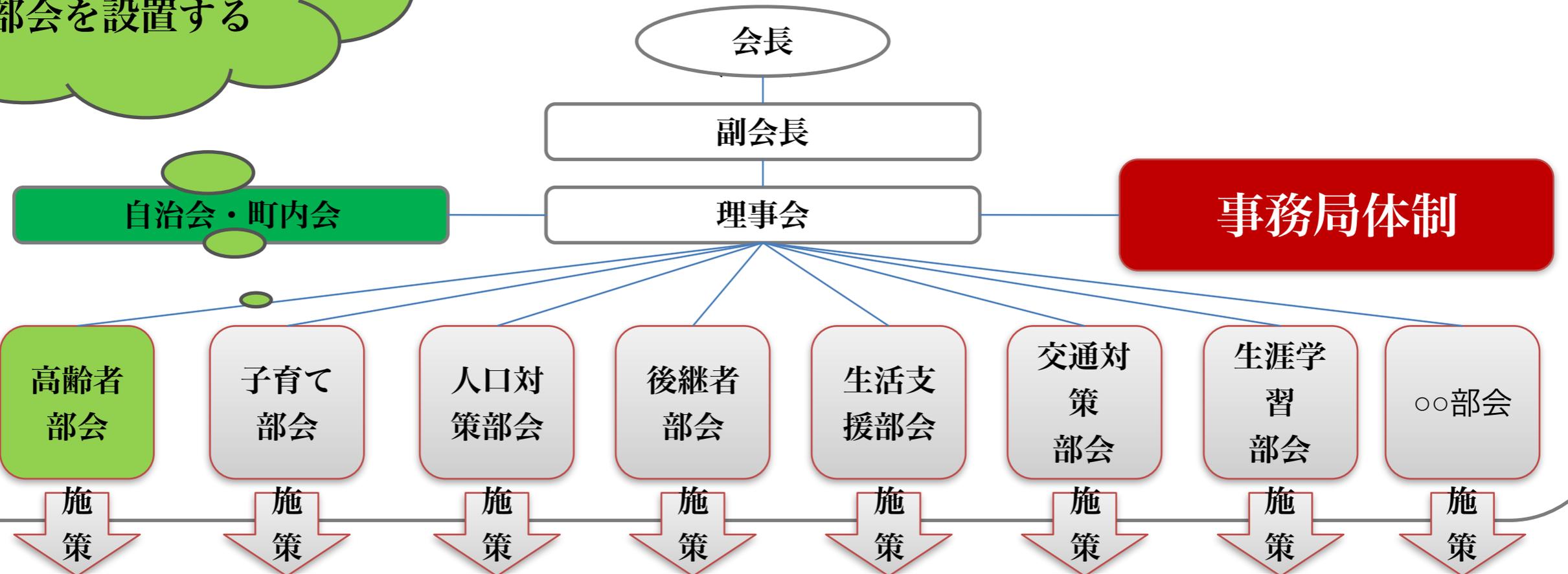
- 1) 従来の自治振興会、公民館、地区社協体制の
一本化と課題に応じた部会制の設立
→ 住民自治機能強化へ組織の再構築
- 2) 公民館の（仮称）コミュニティセンター化
→ 住民自治活動の拠点確保
- 3) 事務局の強化（地域での職員採用）
→ 住民自治を担う人材の確保と育成



これからの地域運営組織イメージ

課題解決のための
部会を設置する

小規模多機能自治組織



地域住民の安全安心のために、将来の子どもたちのために！

「地域づくり・支え合いの福祉」まるごと意見交換会

山野自治振興会 平成30年6月16日



住民が支え合うまちづくり（自助・互助）を構築し、安心して暮らせる長寿社会を目標に、小規模多機能自治や地域包括ケアに関する説明や意見交換の場を設ける。
平成30年3月～7月、地域包括ケア課・南砺で暮らしませんか課・福祉課・エコビレッジ推進課・市社協が合同で、31自治振興会に出向き、住民と膝詰めで協議を行う。